

# 新型コロナウイルス感染症

## 第三期 奈良県緊急対処措置

令和3年5月28日(金)

第22回奈良県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

(第二期は、5月12日～5月31日)

大阪府など、近隣府県の緊急事態宣言が延長されるのを確認し、特に大阪府の感染動向に大きな影響を受ける奈良県においては、奈良県への感染の波及を最小限におさえ、また、県内の感染拡大抑止を図るため、県独自の緊急対処措置を、近隣府県の緊急事態宣言の延長期間に合わせて6月20日まで延長することといたします。

奈良県では、これまでの本県の緊急対処措置の効果と必要性について、関係市町村とともに確認しつつ、取捨選択を行い、引き続き、強い危機感をもって、「緊急対処措置」を実行していきます。

## 目 次

1. 緊急事態宣言下における感染状況の分析
2. 奈良県の緊急対処措置
3. 効果的な感染防止対策
4. 医療提供体制を護る措置
5. ワクチン接種の早期展開

# 1. 緊急事態宣言下における感染状況の分析

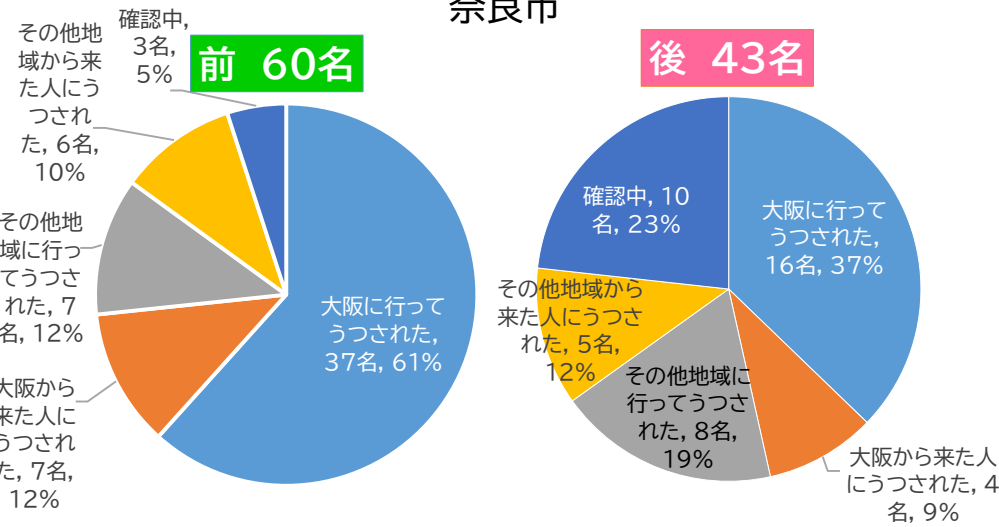
# (1)大阪での緊急事態宣言発出の前後における本県の一次感染の状況

奈良市、香芝市、北葛城郡は、大阪府の緊急事態宣言発出後は、大阪に行っ  
 ುತ್ತされた方が大幅に減少

奈良市

前 60名

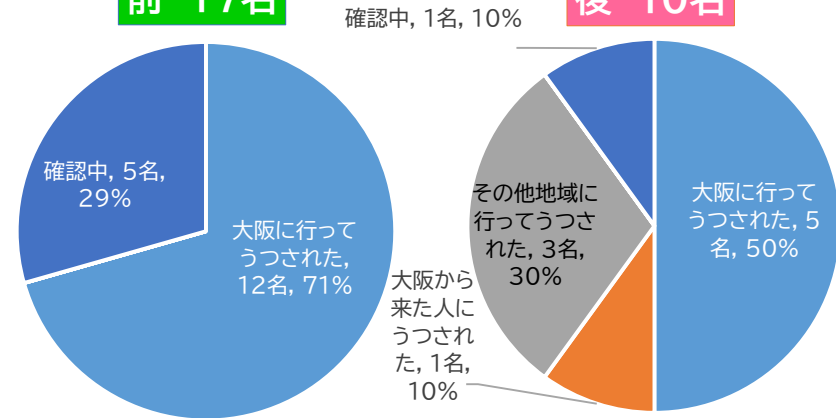
後 43名



香芝市

前 17名

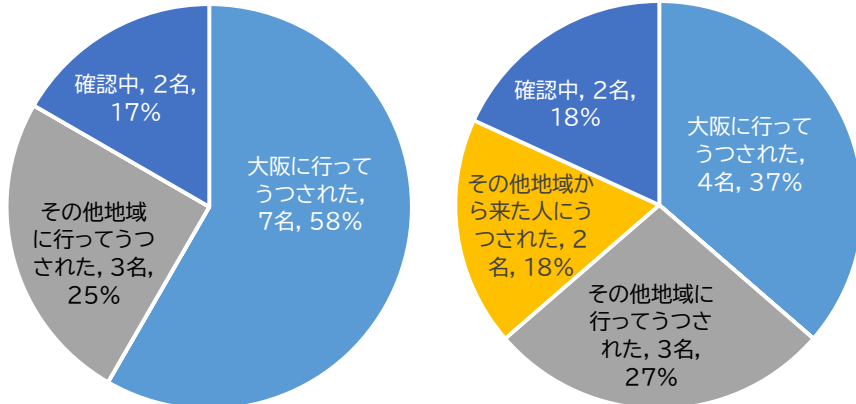
後 10名



北葛城郡

前 12名

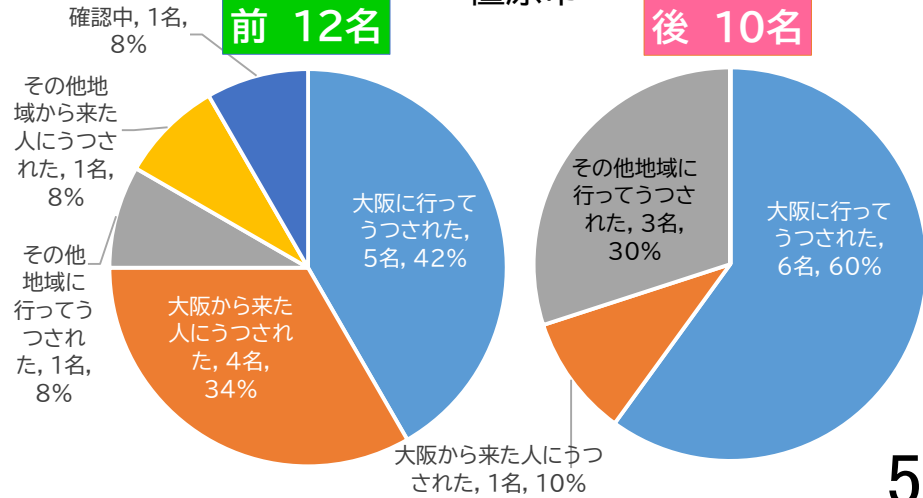
後 11名



橿原市

前 12名

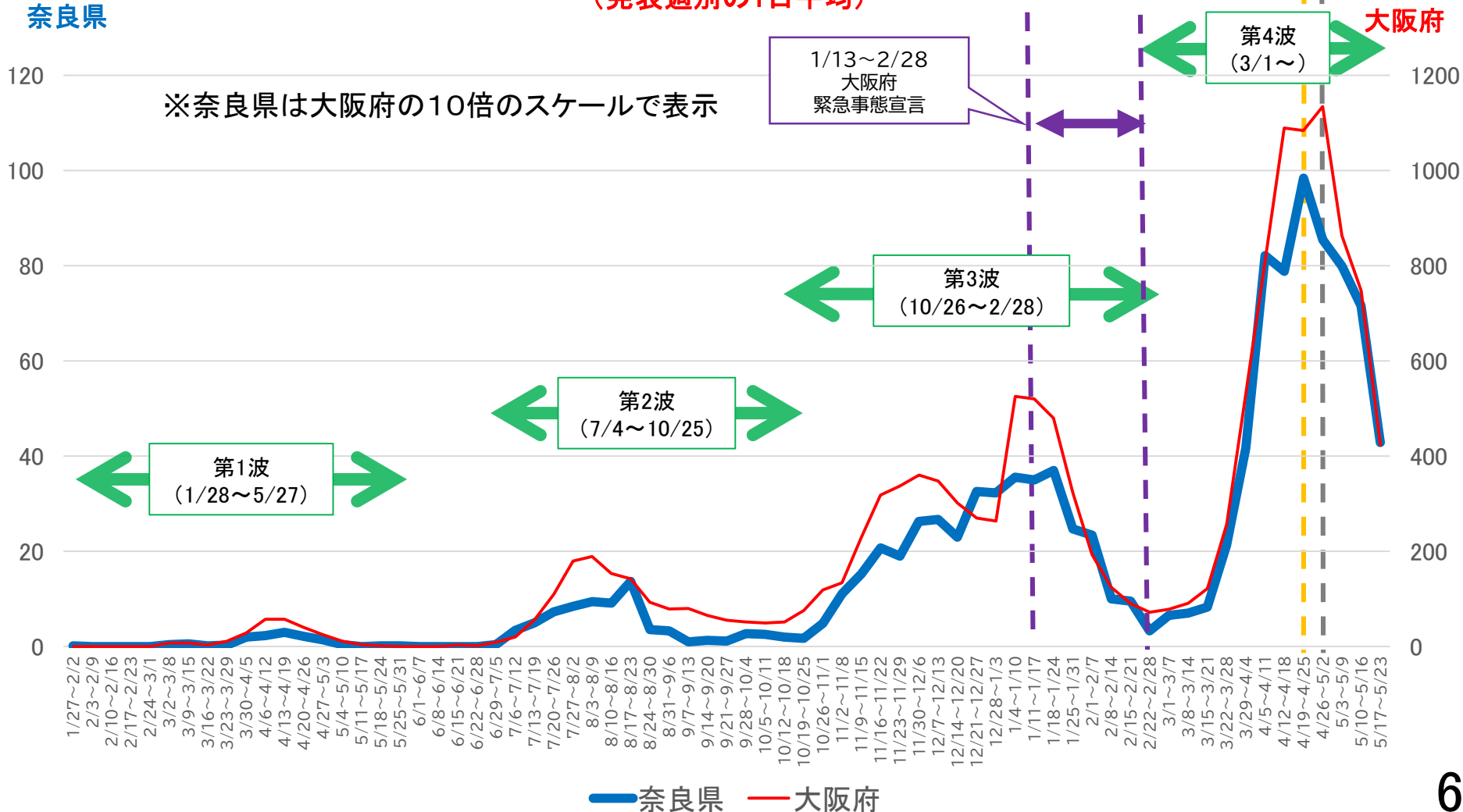
後 10名



## (2)大阪府と奈良県の感染者数の推移

奈良県は大阪府の約1/10の規模で波形が一致

新型コロナウイルス感染症 感染者数(奈良-大阪)  
(発表週別の1日平均)



## (2)大阪府と奈良県の感染者数の推移

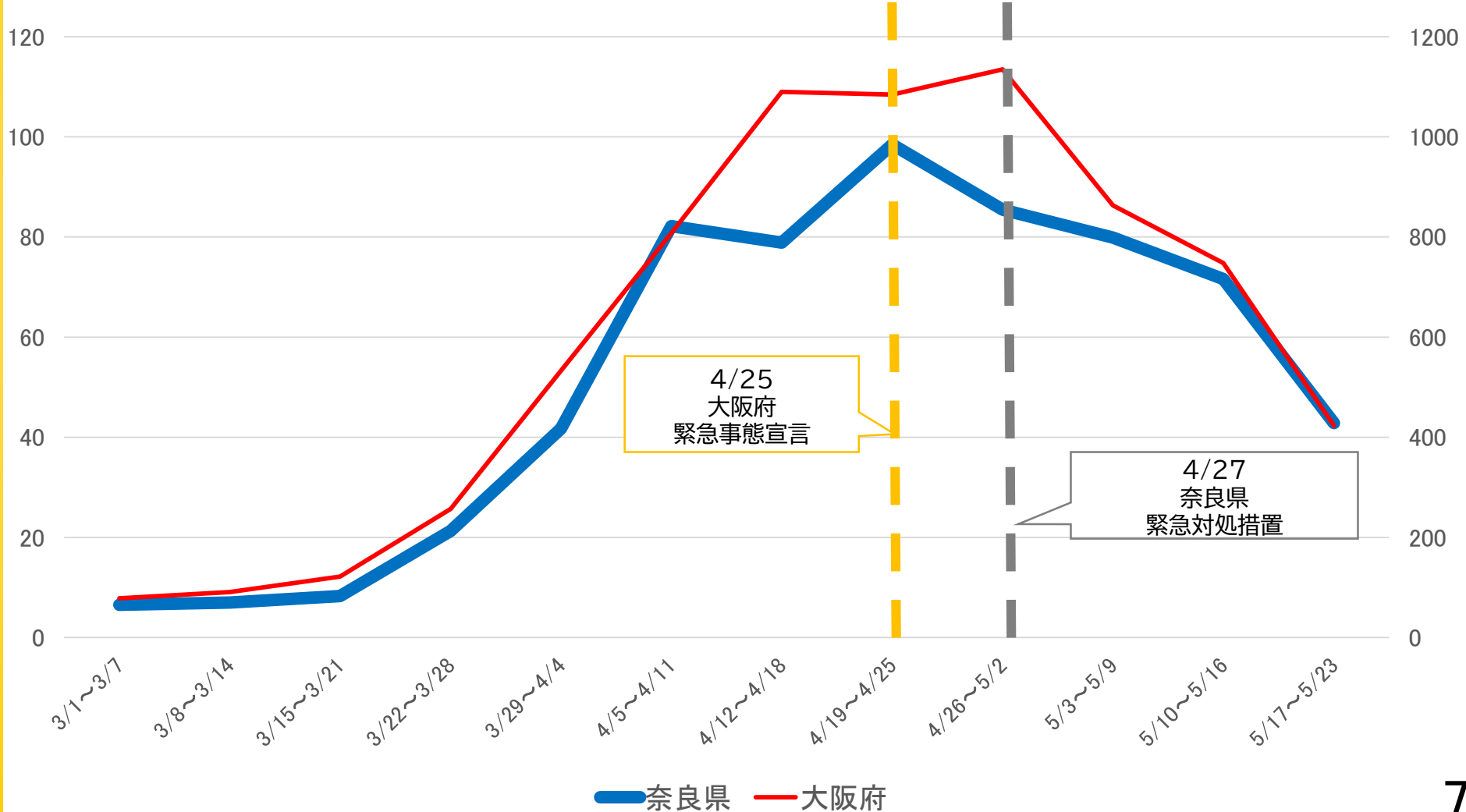
新型コロナウイルス感染症 感染者数(奈良ー大阪)  
(発表週別の1日平均)

第4波  
(3/1~)

奈良県

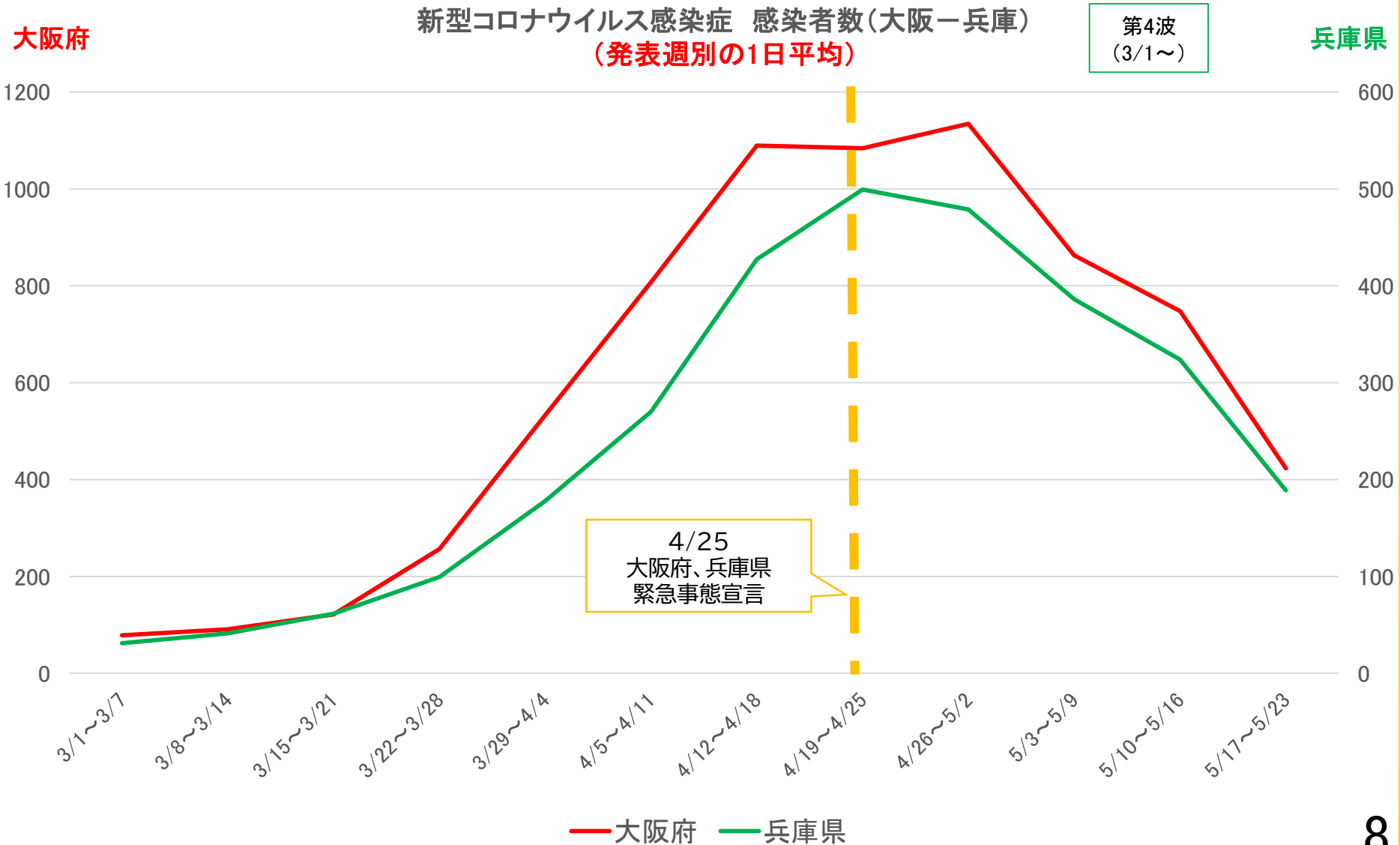
※奈良県は大阪府の10倍のスケールで表示

大阪府



### (3)大阪府と兵庫県の感染者数の推移

兵庫県は大阪府の約4割の規模で波形が類似





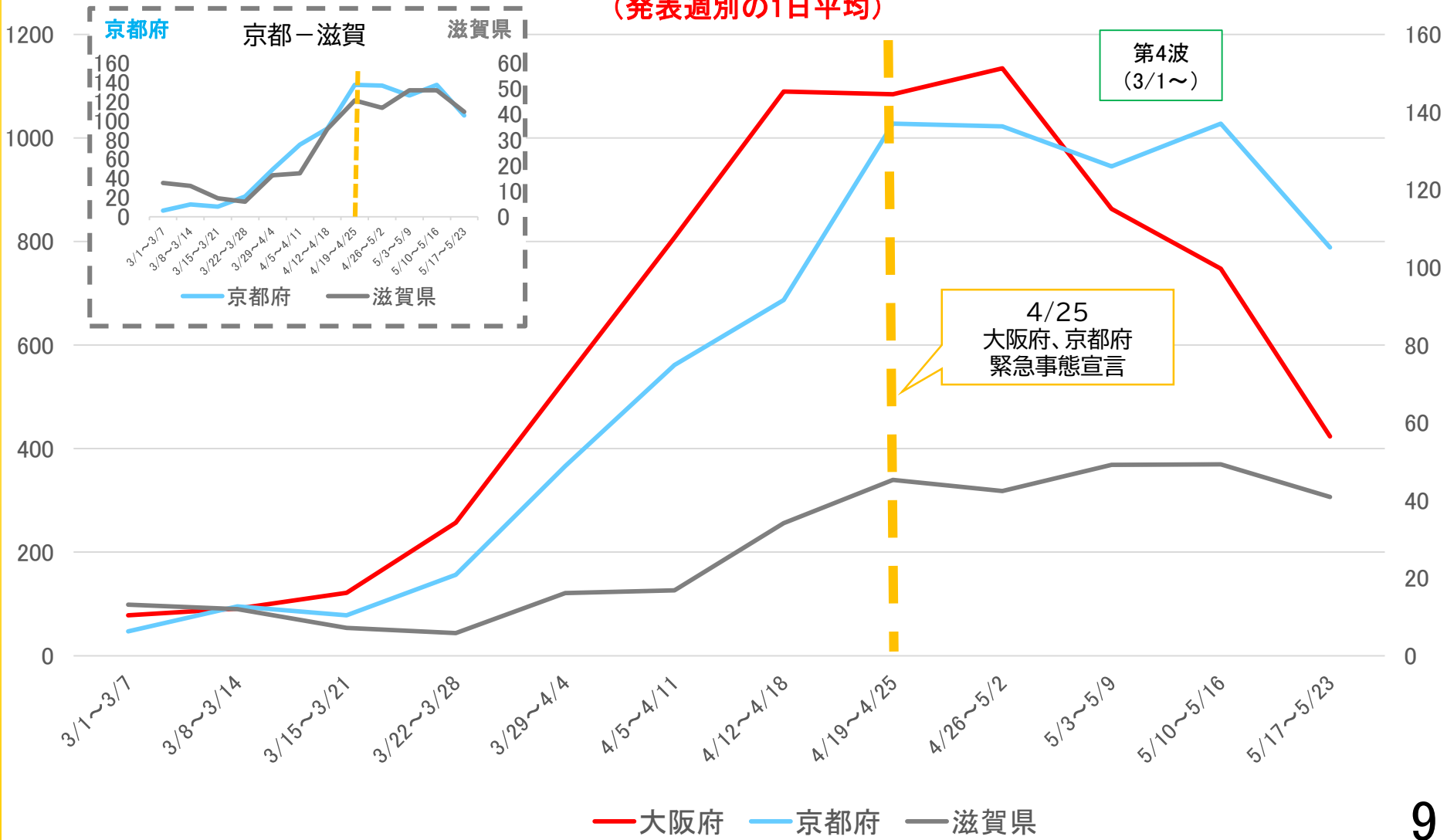
# (4)大阪府と京都府、滋賀県の感染者数の推移

京都府・滋賀県は大阪府の一週間程度の遅れで推移

京都府  
滋賀県

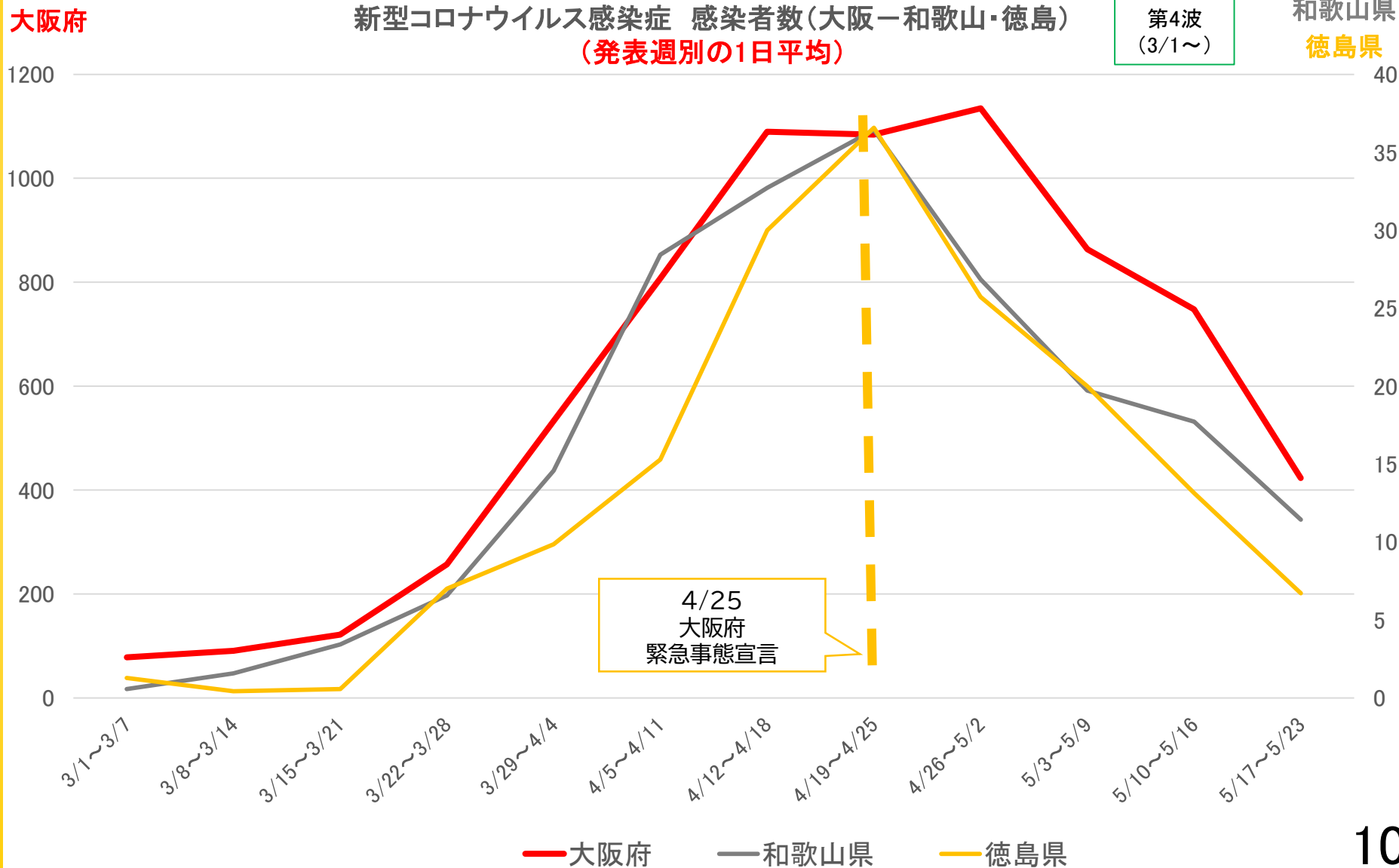
大阪府

新型コロナウイルス感染症 感染者数(大阪-京都-滋賀)  
(発表週別の1日平均)



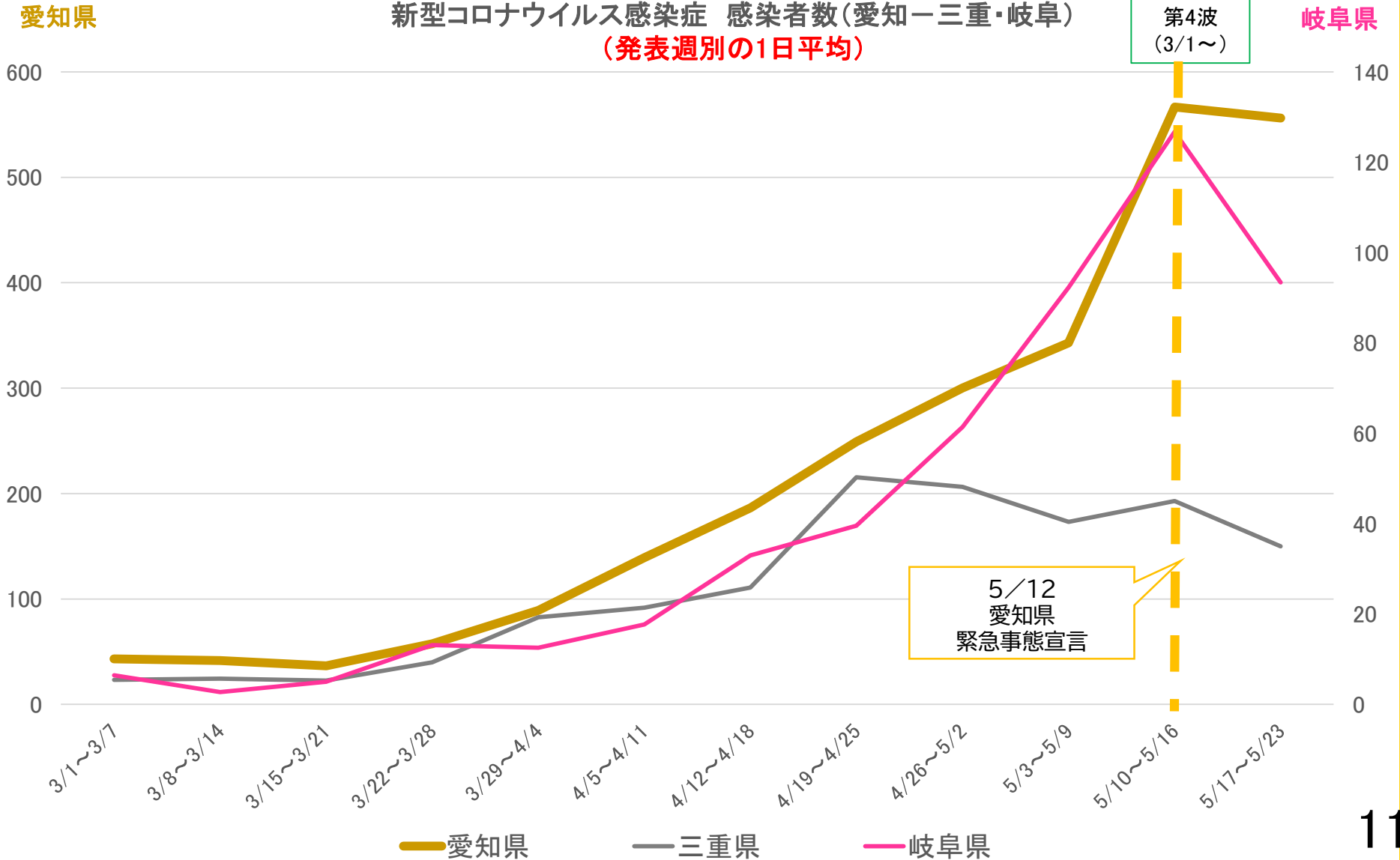
# (5)大阪府と和歌山県、徳島県の感染者数の推移

和歌山県、徳島県は大阪府と波形が連動

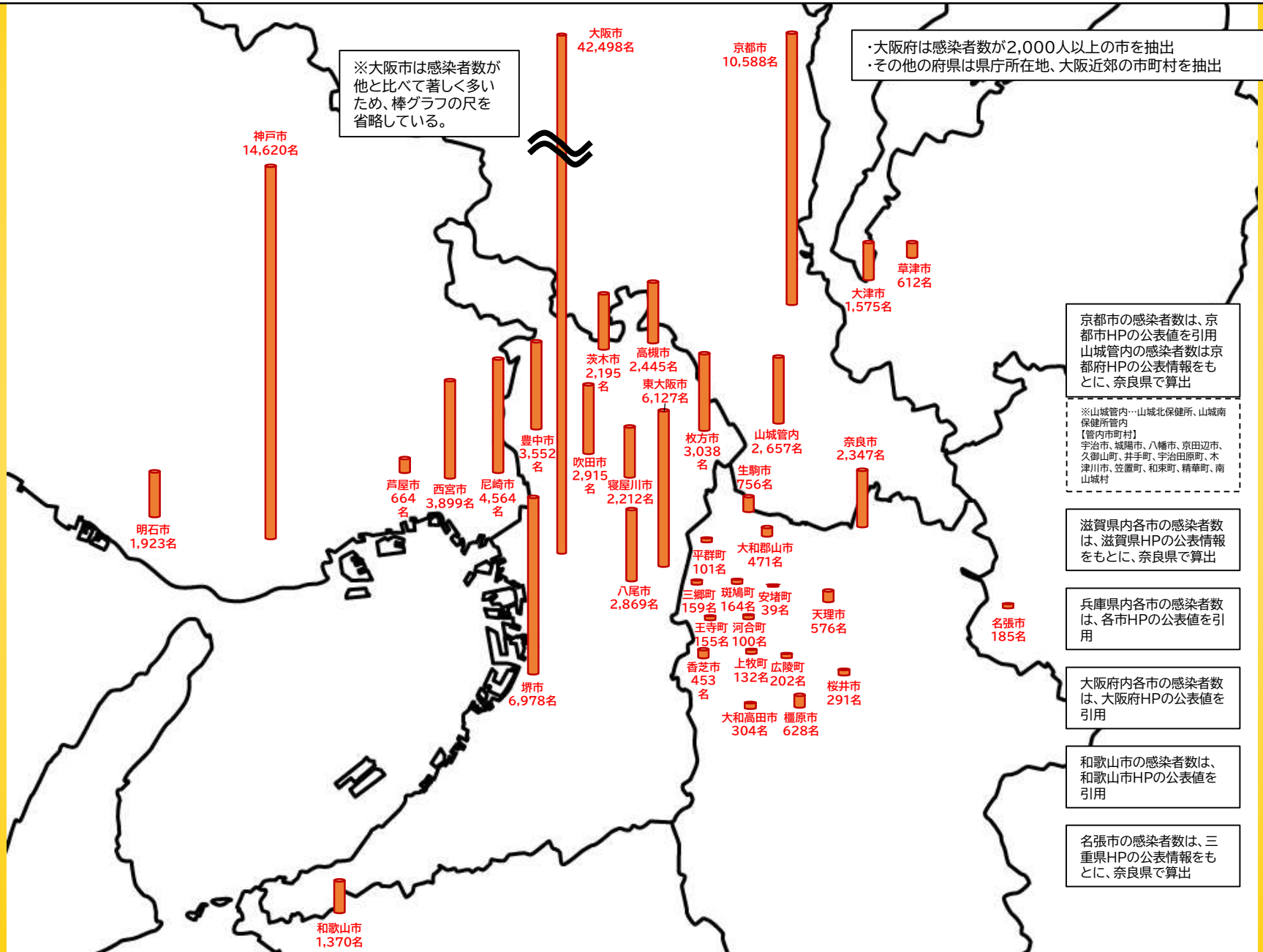


# (6)愛知県と三重県、岐阜県の感染者数の推移

愛知県と岐阜県は波形が類似



# (7)近畿府県の感染者数の状況(5月24日時点累計)



## (8) 死亡者数の状況分析(全国比較)

期間中(令和3年3月1日～4月30日) における死亡者数／新規感染者数の 割合による区分	該当都道府県(割合が高い順に掲載)
上位グループ (2.2%以上)	福島県、北海道、徳島県、千葉県、福井県、三重県
中位グループ (1.5%以上2.2%未満)	埼玉県、静岡県、高知県、岐阜県、東京都、長野県、山形県、秋田県、 神奈川県、愛知県
下位グループ (1.5%未満)	石川県、愛媛県、山口県、群馬県、福岡県、滋賀県、山梨県、兵庫県、 長崎県、奈良県(1.07%)、茨城県、和歌山県、大阪府、京都府、 宮城県、佐賀県、熊本県、新潟県、広島県、香川県、大分県、岡山県、 鹿児島県、栃木県、沖縄県、宮崎県、岩手県、青森県、富山県、 鳥取県、島根県

※上記割合は厚生労働省公表資料「各都道府県の検査陽性者の状況(空港・海港検疫、チャーター便案件を除く国内事例)」より奈良県で算出

## 2. 奈良県の緊急対応措置

## 2. 奈良県の緊急対処措置

### (1) 本県の緊急対処措置の経緯について

近隣府県が緊急事態宣言を発出される中、県内でも同宣言の発出を求める声が強くなった時期がありました。

国の緊急事態宣言の特徴としては、

①酒類・カラオケ設備を提供する飲食店に休業要請をする。

その他の飲食店に時短要請をする。

②大規模商業施設に休業要請をする。

③県下全域に適用する。

などが主なものでした。

## 2. 奈良県の緊急対処措置

奈良県は、

- ①飲食店が集中した地域がなく、そこでコロナ感染が発生した事例が少ないこと。
- ②商業施設での感染事例が少なく、休業要請した場合、県内経済への不  
必要な打撃が大きいこと。
- ③県内の感染状況には差があり、県下全域に同様の措置を適用する必要  
がないこと。

などから、国の緊急事態宣言を適用する措置をとらず、県の実情に合わせた「緊急対処置」を適用しました。

大都市において効果があると思われる国の緊急事態宣言が大阪府でとられた結果、大阪府の新規感染者数は減少に転じ、大阪府の感染動向と連動・同調する傾向が強い本県の新規感染者数も減少傾向にあります。

本県における感染拡大防止については、大阪府における感染の動向を引き続き注視するとともに、県内の感染拡大抑制の対処も、引き続き緊張感をもって継続していく必要があるものと思われます。



## 2. 奈良県の緊急対応措置

### (2) 継続する緊急対応措置の内容について

#### ① 飲食店などへの時短要請

6月1日以降の時短要請は、**3市が継続して行います。**

現在、時短要請中【5/31まで】

**9市町**



第三期緊急対応措置【6/1～6/20】

**3市**

(奈良市、天理市、生駒市)

#### ➤ 時短要請を**継続する市の理由** (市町村への事前意向調査結果)

- 夜間の人流を抑制したい。
- 緊急事態宣言が発令中の近隣府県からの流入抑制を図りたい。
- リバウンドを防ぎたい。

(参考) 感染者数(累計) 奈良市・県内1位、天理市・県内4位、生駒市・県内2位

#### ➤ 時短要請を**継続しない市町の理由** (市町村への事前意向調査結果)

- 直近の新規感染者数が減少してきた。(又はゼロになった。)
- 今後は、県の認証制度を活用し、感染防止を働きかけたい。

#### ➤ 引き続き、協力金の県の**同額上乗せ支援**及び市町村負担に対する**県独自の追加財政支援を実施**します。

(協力金は、売上規模に応じて、県と市町の合計額で2万円/日、4万円/日、6万円/日)

## 2. 奈良県の緊急対処措置

### ② 施設の使用制限(公立施設)

閉館、閉園が必要な公立施設については、県と市町村が協議して実施

公立施設の閉館、閉園について、引き続き市町村が取組の継続を検討されていることから、当該地域における県立施設の閉館、閉園を継続実施。

➤ 閉館、閉園の継続を検討中の市町村(10市町) (5月24日現在)

※今後、個別の対応については、各市町村が本部会議等を開催の上決定

### ③ 施設の使用制限(イベント)

地域のイベント制限については、県と市町村が協議して対処

地域のイベントの制限について、引き続き市町村が取組の継続を検討されていることから、当該地域における県イベントの制限を継続実施。

(ムジークフェストなら2021(5月15日～6月6日)については、関係市町と協議のうえ、無観客開催とし、動画配信を実施中)

➤ 地域のイベント制限の継続を検討中の市町村(14市町) (5月24日現在)

※今後、個別の対応については、各市町村が本部会議等を開催の上決定

## 2. 奈良県の緊急対処措置

その他、奈良県の実情に合わせた取組を継続します。

### ④施設の使用制限(飲食店)

- ・県外からの来訪者が訪れる可能性の高い店舗、施設等については、感染予防の配慮をしていただくようお願い
- ・飲食店においては、カラオケ設備の提供を控えていただくようお願い

### ⑤施設の使用制限(商業施設)

- ・県外からの来訪者が訪れる可能性が高い店舗、施設等については、感染予防の配慮をしていただくようお願い

### ⑥施設の使用制限(事業者)

- ・感染防止対策を実施する飲食店・宿泊施設を県が認証する**認証制度を創設**  
(5月25日に認証制度の受付開始)
- ・認証取得に向けた**感染防止対策施設支援補助金を県が支給**

## 2. 奈良県の緊急対処措置

### ⑦その他協力要請(交通)

- ・交通事業者に対して、県内主要ターミナルでの検温実施の協力を県から要請

### ⑧その他協力要請(企業・役所)

- ・県内の勤務者、事業者に対して、在宅勤務の活用、残業抑制、時差出勤等の推進について県がお願い
- ・県庁における勤務については、同様の措置を実行

### ⑨その他の協力要請(高齢者施設等)

- ・クラスターが発生した社会福祉施設、医療機関等を対象に、拡大防止のための実地指導を実施
- ・市町村においても事前の実地指導ができるよう、マニュアルを提供し、実地指導を支援
- ・社会福祉施設の職員の方々などに、「持ち込まない対策」の徹底をお願いする文書を発出

## 2. 奈良県の緊急対処措置

### ⑩その他協力要請(学校)

- ・学校の部活動・教育実習等の制限・自粛を要請

### ⑪その他協力要請(住民)

- ・大阪など感染者が多い地域へは行かず、県内で家族と過ごしていただくようお願い
- ・緊急事態宣言が適用された地域の人々には、「緊急対処措置」適用期間中の、奈良県への不要不急の来訪を極力控えていただくようお願い
- ・感染予防策などを掲載した県民だより臨時特集号を全戸配布
- ・感染症専門医が感染対策を呼びかけるテレビCMを放映。LINE、ツイッターなどSNSでも発信
- ・GoToEat事業の食事券の追加販売は、緊急対処措置期間中は停止  
(予約済みのものについて、緊急対処措置期間経過後まで発券を延期)  
(販売済みの食事券について、緊急対処措置期間中の利用を控えるよう呼びかけ)

## 2. 奈良県の緊急対処措置

### ○ 感染防止対策を実施する飲食店・宿泊施設の**認証制度を開始**

<スケジュール>

**5月25日(火) 認証制度受付開始・補助金申請受付開始**

**5月31日(月) 第1弾認証予定(飲食店から順次)**

認証ステッカー

6月以降 宿泊施設も順次認証

9月末 補助金申請期限



※5月27日時点 相談件数:105件(全般:8件、飲食店:72件、宿泊施設:25件)

(参考) 県内対象店舗・施設数 飲食店:8,696店舗、宿泊施設:742施設

### ○ 感染防止対策の徹底度により、**4段階の認証区分**

「☆☆☆」 認証基準の必須項目+アピール項目6項目以上

「☆☆」 認証基準の必須項目+アピール項目3~5項目

「☆」 認証基準の必須項目(飲食店53項目、宿泊施設62項目)

<認証基準の項目>

○必須項目(例) 手指消毒の実施、マスク着用周知、パーティションの設置、換気実施

○アピール項目(例) 二酸化炭素測定器の設置、自動水栓やオート機能付きトイレ設置

### ○ 認証取得に向けた**感染防止対策施設支援補助金**を県が支給

補助対象経費の**3/4** 上限(飲食店等:**20万円**、宿泊施設:規模に応じ**最大750万円**)



## 2. 奈良県の緊急対処措置

### ○ テレビCM放映、SNS発信、県民だより臨時特集号発行等について

#### ① テレビCM放映

- 感染症専門医が感染対策を呼びかけるテレビCMを放映(4月29日～)  
YouTubeにCM動画を掲載。視聴回数1万回超(5月27日現在)
- 「マスク」「消毒」「換気」のポイントを感染症専門医が伝える、3種類のCM動画が完成。  
5月28日より放映開始。YouTubeにCM動画を掲載



#### ② SNSによる情報発信

- 新型コロナウイルス感染症に関する最新情報を  
LINE、ツイッターなどSNSで随時配信



#### ③ 県民だより臨時特集号発行

- 奈良県の新型コロナウイルス感染症の特徴や感染経路  
に応じた感染予防策をお知らせ  
(5月下旬より全戸(約59万戸)に順次配布)

#### ④ 全国紙(4紙)及び地方紙に新聞広告を掲載

- 連休期間中の感染対策の徹底を呼びかけ(5月2日、3日)

### 3. 効果的な感染防止対策



県民の皆さまのご理解・ご協力をいただき、県内の感染状況は、緊急対処措置実施前に比べて、改善してきました。

しかしながら、周辺府県を含めて全国の感染状況は、まだまだ予断を許さない状況にあります。

そのため、「家庭内の感染」、「クラスターによる感染」、「家庭外の感染」の3大類型のそれぞれに適した感染拡大防止策を実行する必要があります。

それぞれの対策は、**前2者は、県内が感染場所**であり、場所に応じた対策が必要です。**家庭外での感染**は、場所が県外と県内の双方に存在しており、**感染しないような行動、行為の徹底**が最も重要となります。

その際、従来からお願いしています「家庭内での感染防止」、「家庭外（仕事や友人等との交流など）での感染防止」に加えて、連鎖的に広がる**「クラスターによる感染拡大を食い止める」**ための注意を新たにお願ひします。

感染したリスクを認識した時点からでも、そこで食い止め、学校や職場などで感染を拡大させない（最小限にする）ため、ここでは、**事例に基づいた対策**をお示しします。

### 3. 効果的な感染防止対策 ～類型毎の注意～

#### ① 家庭内から外部への感染が**広がった**事例

のちに陽性が確定したAさんは、**全身倦怠感があったが、普段どおりに生活**していた。Aさんの子どもは、**症状がなかったため、普段どおりに外出し、換気**されていない部屋でマスクを着用せず友人と会話したところ、**感染が広が**った。



➤ 体調不良時は、家庭内感染を防ぐ七カ条(「空間的分離」と「時間的分離」)を徹底する。

➤ 家族に感染の疑いがある場合は、通勤・通学しない、保育園に行かない。

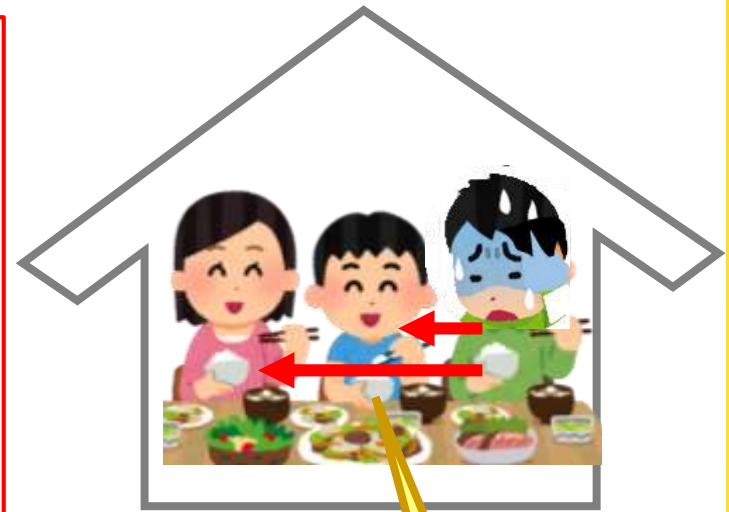
・感染の疑いがある場合とは… 濃厚接触者に特定された、風邪の症状・発熱などがある

### 3. 効果的な感染防止対策 ～類型毎の注意～

#### ② 家庭内で感染が**広がった**事例

のちに陽性が確定したBさんは、風邪のような症状があったが、家族と一緒に食事を取り、同じ部屋で就寝するなど、**普段どおりの生活を継続**していた。

後日、Bさんの配偶者と、子どもの陽性が判明した。



- 「自分が感染しているかも」を前提に、換気、マスクの着用を徹底する。
- 体調不良時は、家庭内感染を防ぐ七カ条(「空間的分離」と「時間的分離」)を徹底する。

### 3. 効果的な感染防止対策 ～類型毎の注意～

#### ③ 家庭内で、本人の行動が感染拡大を防いだ事例

医療従事者のCさん。父親が感染したので、PCR検査を受け、一旦陰性確認されるものの、注意を怠らず自宅に待機して、出勤・外出を自粛。

その後、自覚症状が出たため、トイレを2階と1階で分け、部屋から出ずに自室で自己隔離を徹底。

陽性判明前から生活空間の物理的な分離や出勤・外出の自粛を行ったことで、家庭内や職場でCさんからの感染は確認されず。

就職活動中の大学生Dさん。あるインターンシップに参加し、後日、他の参加者の陽性が判明したと企業から連絡あり。

連絡を受けて、家族とは食事・トイレを別に分け、お風呂も最後に入るなど、可能な範囲で生活の時間と空間を分離。

その後、Dさんの陽性が判明したが、時間と空間を分けて生活し、家族との接触を抑えたことで、Dさんの家族には感染せず。

### 3. 効果的な感染防止対策 ～類型毎の注意～

#### ④ 家庭外(友人との交流)で感染が**広がった**事例

のちに陽性が確定したEさんは、発症数日前に、同僚との飲み会に参加。翌日、友人と旅行に行き、別の日に自宅でパーティーを開催。

**飲み会・旅行・パーティー**それぞれで、複数名の参加者が感染した。また、感染した参加者のうち複数で、その家族に感染が広がった。



- 親しい仲間うちでの、飲み会・旅行・パーティーを、できるだけ自粛する。
- 親しい仲間うちでも、マスクを着用せず対面する機会を徹底的に避ける。

### 3. 効果的な感染防止対策 ～類型毎の注意～

#### ⑤ 家庭外(職場)で感染が**広がった**事例

のちに陽性が確定したFさんは、**体調が悪かった**  
**が、出勤。**

Fさんと一緒に車に乗り、外回りの仕事をしてい  
た同僚が感染。



- 体調不良時は、出勤しない。
- 職場・学校では、車内も含めて、換気、マスクの着用を徹底する。

### 3. 効果的な感染防止対策 ～類型毎の注意～

#### ⑥ 家庭外(職場)で、本人の行動が感染拡大を防いだ事例

小売店勤務のGさんは、外出時に新型コロナウイルスに感染。

Gさんの会社では、感染防止のため、社員食堂のパーティション、十分な座席間隔、マスク無しの会話禁止、社内共有物の70～80%アルコールでの消毒等を徹底しており、Gさんも遵守。

その結果、職場内でGさんからの感染は確認されず。





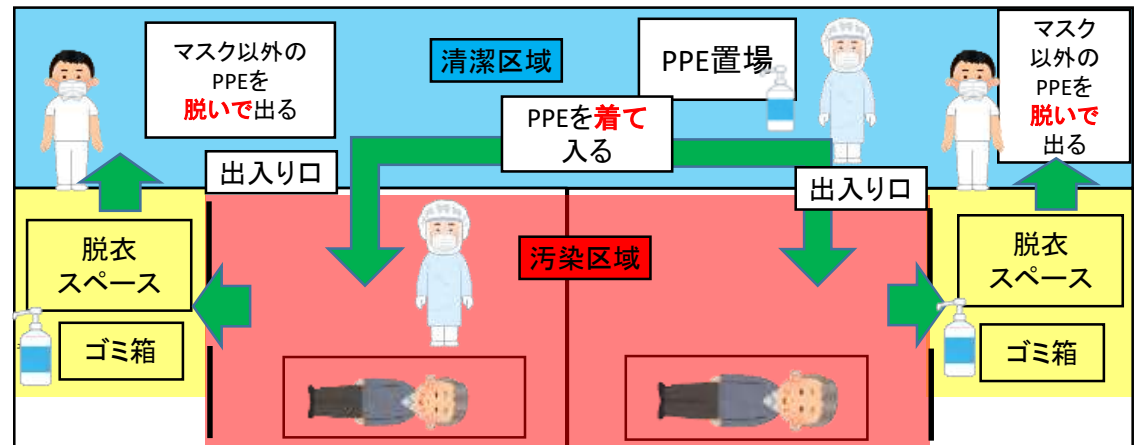
### 3. 効果的な感染防止対策 ～類型毎の注意～

#### ⑦ 社会福祉施設等でのクラスター再発を防いだ事例

クラスターが発生した施設に対し、医師、感染症管理看護師、県職員等によるチームにより**実地指導**を行い、感染防止策を徹底。  
その後、同じ施設でクラスターは再発していません。



現場では、汚染区域と清潔区域を明確に区別できているか、など点検します。





## 4. 医療提供体制を護る措置

## (1) 重症対応病床の逼迫状況

重症患者の増加により、5月27日には、**重症対応病床**32床に対し、重症患者数は21名となり、その占有率は66%となりました。

空き病床に多少の余裕ができましたが、依然として**逼迫**した状況が続いています。

# (1) 重症対応病床の逼迫状況

令和3年5月27日時点  
(床)

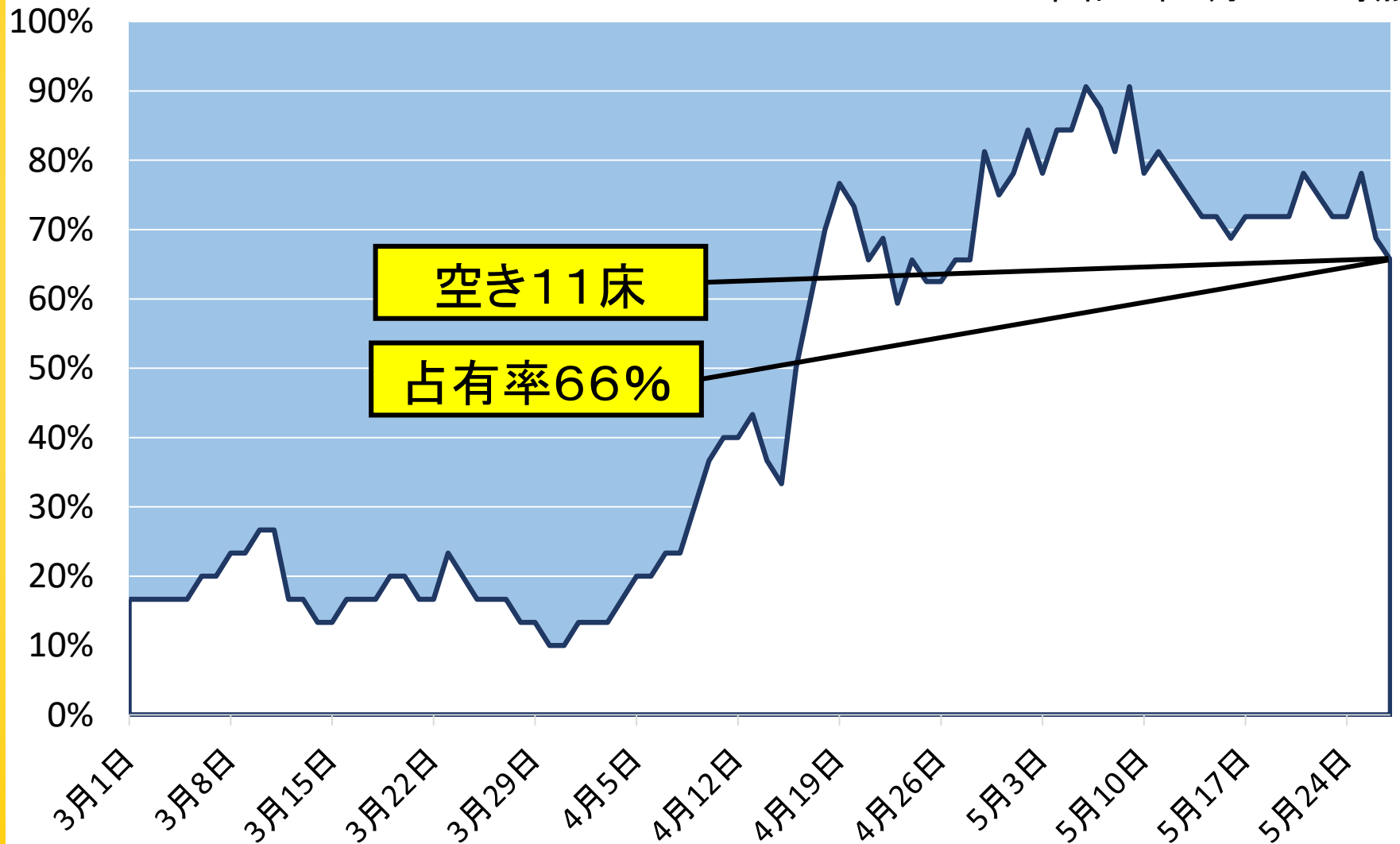
病院名	病床確保 協力要請前 (4月14日)	現在 (5月27日)	要請前
			からの増
奈良県立医科大学附属病院	14	14	
奈良県総合医療センター	6	6	
民間病院 E	2	4	(+2)
南奈良総合医療センター	2	2	
奈良県西和医療センター	2	2	
市立奈良病院	2	2	
大和高田市立病院	2	2	
計	30	32	(+2)

<参考> 県立系病院の病床分 24床/32床 75%

# (1) 重症対応病床の逼迫状況

重症対応病床 32床  
使用病床 21床

令和3年5月27日時点



## (2) 重症対応病床の増床

重症対応病床数は、現在(5月27日)、**32床**です。  
使用病床は、21床(5月27日)となっています。

新型コロナ対応病院に対し、改めて、感染症法第  
16条の2に基づき、重症対応病床の**追加確保の協力**  
**を要請**します。

併せて、新型コロナ対応病院に対し、医療従事者の確  
保や、設備の整備状況等を**丁寧に確認**します。

### (3) 重症化予防

重症化を予防するため、入院・入所待機者、自宅療養者に**パルスオキシメーター**を貸し出しています。

また、**宿泊療養施設**において症状が増悪した方に速やかに対応できるよう、休日・夜間を含めて、**医療機関に搬送(入院)**できる体制を構築しています。

さらに、**宿泊療養施設**において、**酸素投与**ができるよう、検討を進めています。

#### (4) 入院病床の状況

奈良県は、感染症法第16条の2に基づいて、県内全医療機関に入院病床の提供を要請いたしました(4月15日)。

要請前の入院病床は376床でしたが、5月27日に430床となり、7月5日には**443床**まで増床される見込みです。

**要請前から67床の増床**となります。

県内医療機関のご協力に感謝します。

## (4) 入院病床の状況

令和3年5月27日時点  
(床)

病院名	病床確保 協力要請前 (4月14日)	現在 (5月27日)	要請前 からの増	今後見込	要請前 からの増	増床予定日
奈良県立医科大学附属病院	80	80		80		
奈良県総合医療センター	74	74		74		
南奈良総合医療センター	38	44	(+6)	44	(+6)	
奈良県西和医療センター	37	37		37		
市立奈良病院	34	34		34		
(独)国立病院機構 奈良医療センター	30	34	(+4)	34	(+4)	
生駒市立病院	12	16	(+4)	16	(+4)	
済生会中和病院	14	15	(+1)	15	(+1)	
民間病院 A	8	13	(+5)	13	(+5)	
大和高田市立病院	12	12		12		
(独)地域医療機能推進機構 大和郡山病院	10	12	(+2)	12	(+2)	
民間病院 B		12	(+12)	12	(+12)	
(独)国立病院機構 やまと精神医療センター	11	11		11		
国保中央病院	6	9	(+3)	9	(+3)	
済生会奈良病院	4	6	(+2)	6	(+2)	
民間病院 C		6	(+6)	6	(+6)	
民間病院 D		6	(+6)	6	(+6)	
宇陀市立病院	4	5	(+1)	5	(+1)	
民間病院 E	2	4	(+2)	4	(+2)	
民間病院 F				5	(+5)	5/31
民間病院 G				2	(+2)	6/1
民間病院 H (5月17日時点の今後見込から△1床)				2	(+2)	6/11
民間病院 I				2	(+2)	6/21
民間病院 J				2	(+2)	7/5
計	376	430	(+54)	443	(+67)	

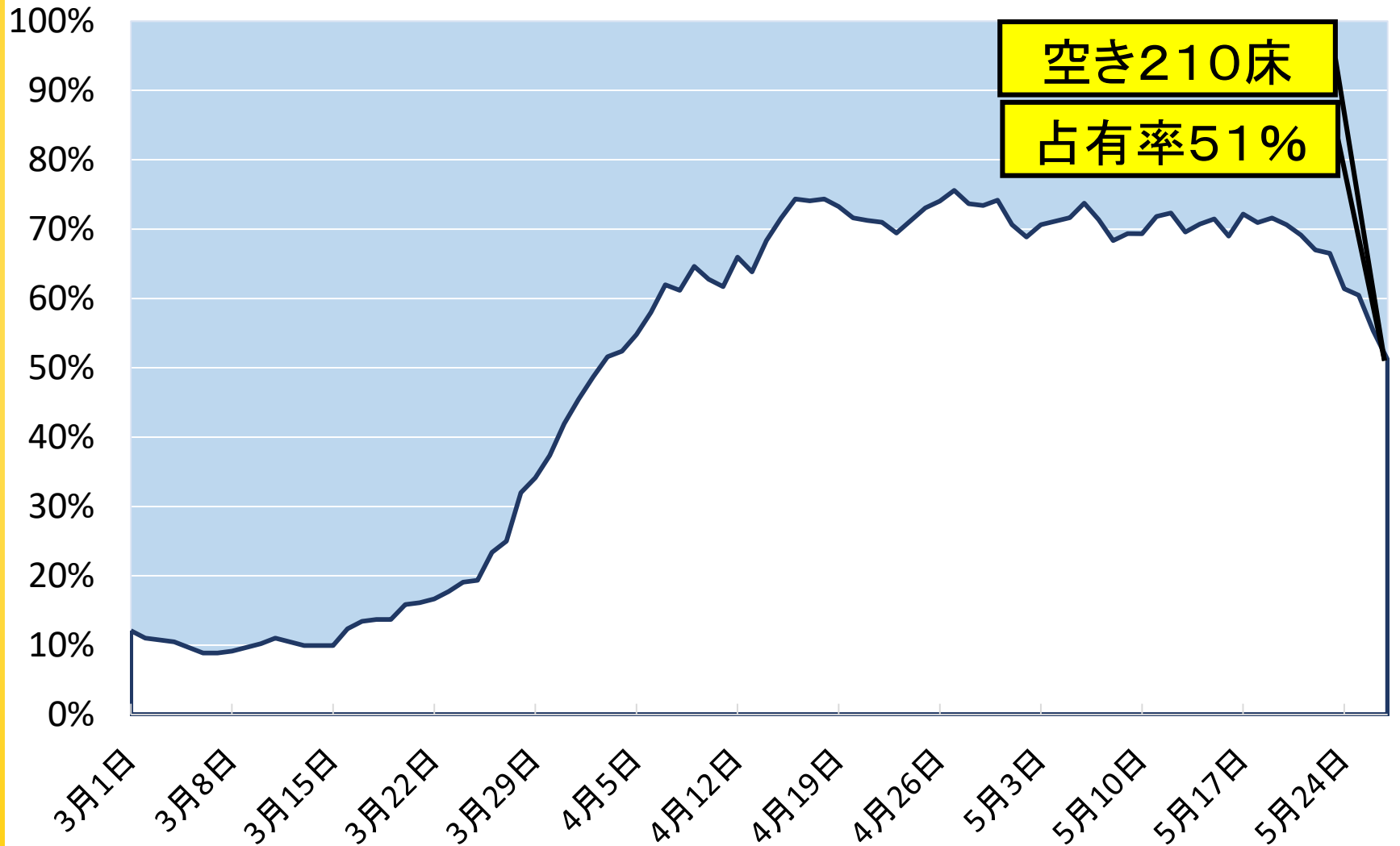
<参考> 県立系病院の病床分 現在(5月27日時点) 235床/430床 55%  
今後見込(7月5日時点) 235床/443床 53%



# (4) 入院病床の状況

入院病床 430床  
使用病床 220床

令和3年5月27日時点



空き210床

占有率51%

## (5) 宿泊療養施設の状況

宿泊療養施設は、5月24日から、奈良ワシントンホテルプラザで145室の運用を開始し、6施設で**711室**を運用しています。

提供していただいたホテルと協力していただいた地域の方々に感謝します。

## (5) 宿泊療養施設の状況

(室)

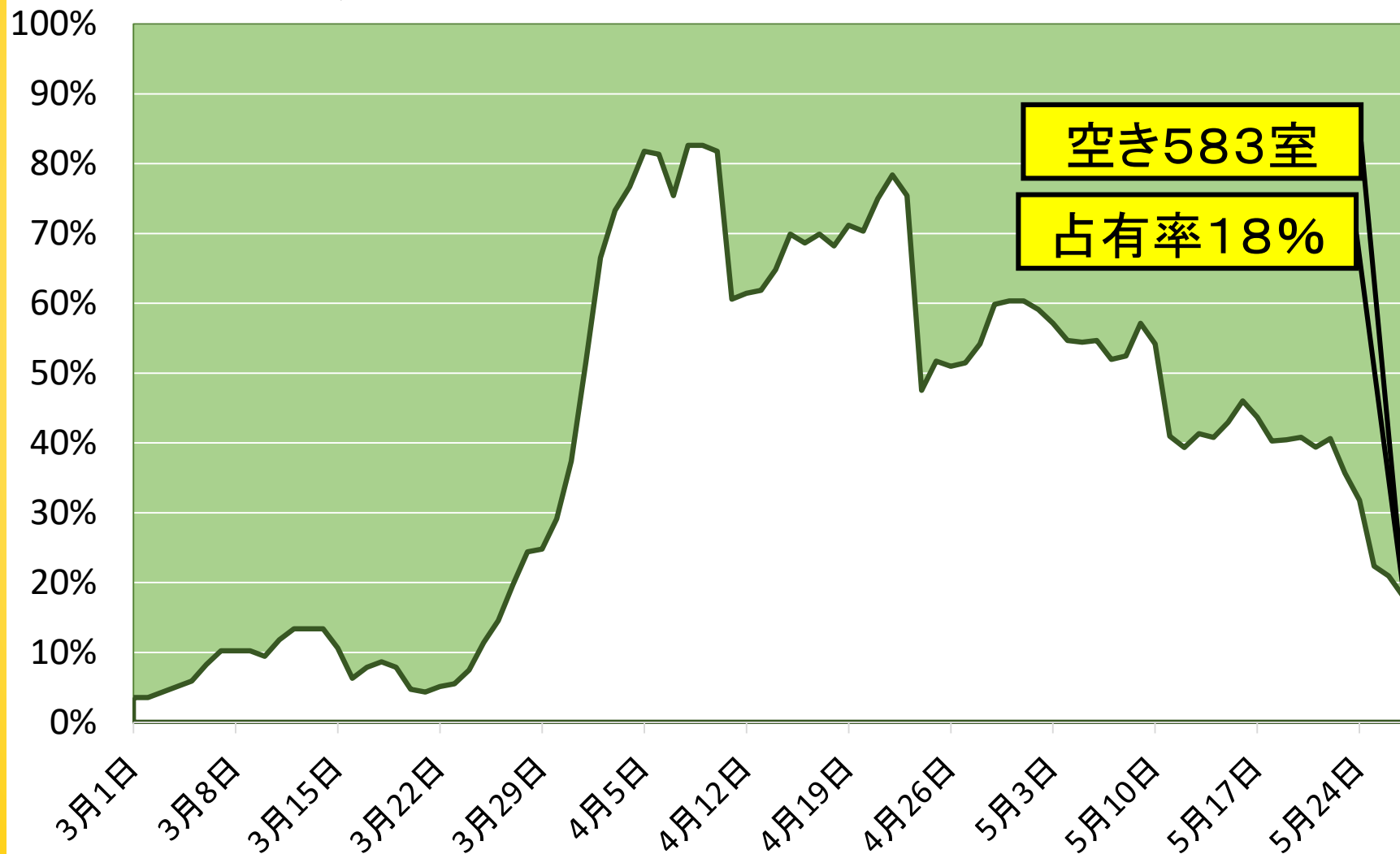
施設名	～5月9日	5月10日 ～17日	5月18日 ～23日	5月24日～
東横INN奈良新大宮駅前	114	114	113	113
(旧) ホテルフジタ奈良	69	69	86	86
ビジネスホテル大御門	53	53	53	53
グランヴィリオホテル奈良-和蔵-	170	170	166	166
スマイルホテル奈良		148	148	148
奈良ワシントンホテルプラザ				145
計	406	554	566	711

※5月18日～の東横INN奈良新大宮駅前、(旧) ホテルフジタ奈良、グランヴィリオホテル奈良-和蔵-の室数の変更は、設備のメンテナンスによるものです

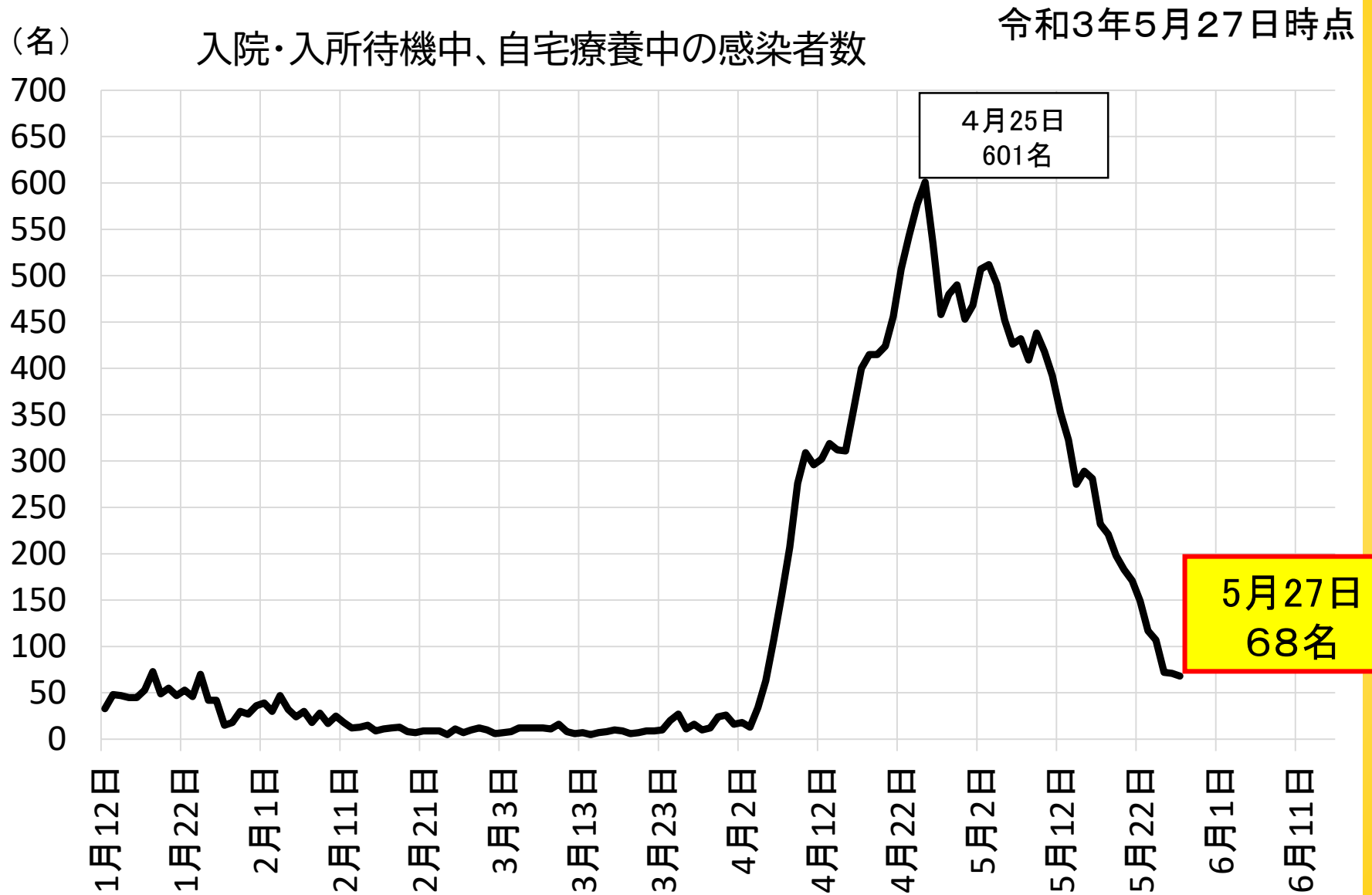
# (5) 宿泊療養施設の状況

運用室数 711室  
入所室数 128室

令和3年5月27日時点

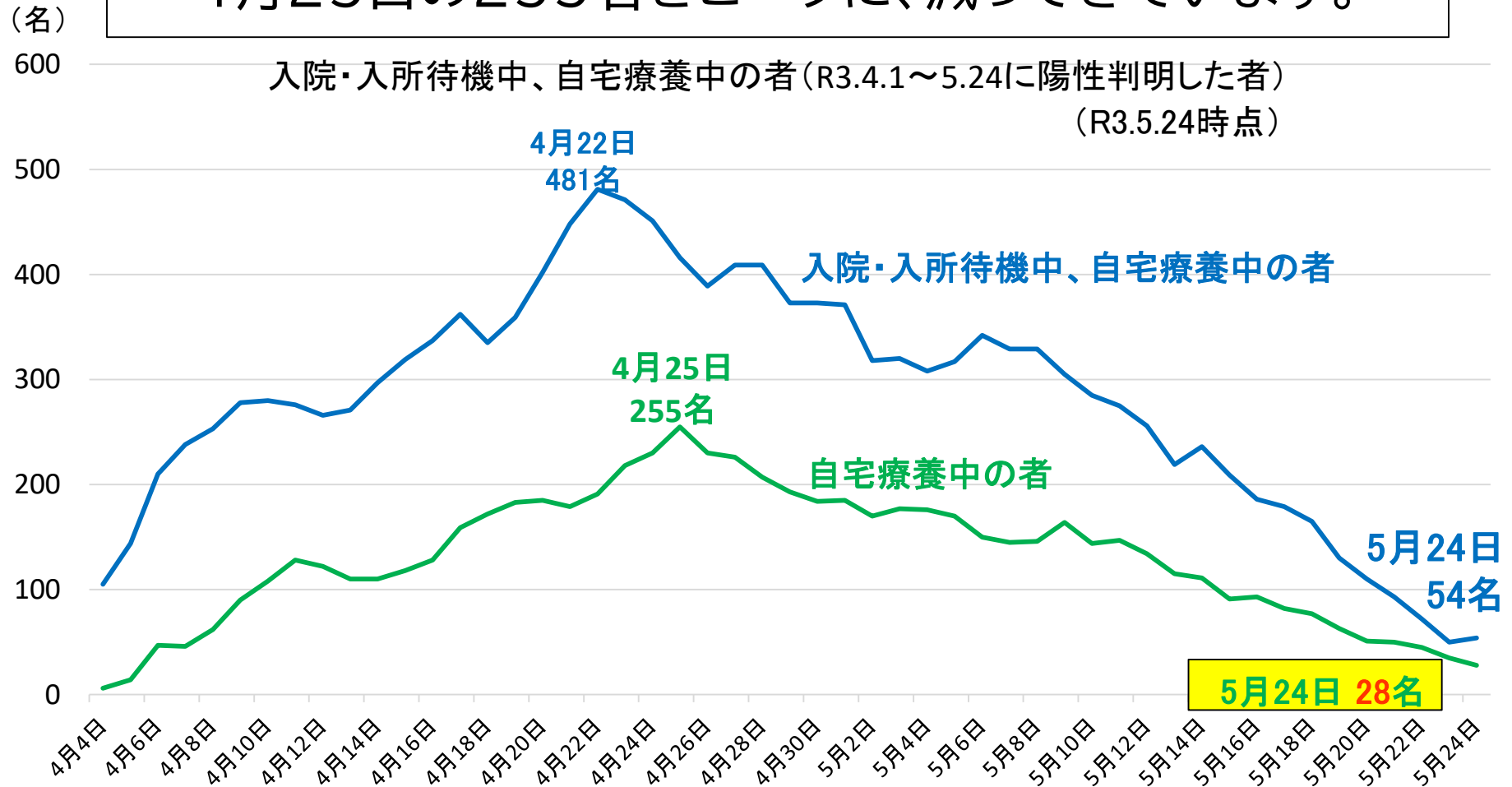


## (6) 入院・入所待機中、自宅療養中の感染者の状況



## (6) 入院・入所待機中、自宅療養中の感染者の状況

自宅での待機期間が3日以上の自宅療養者の数は、4月25日の255名をピークに、減ってきています。



※陽性判明時に死亡の方を集計から除外しています。

※陽性が判明した場合、医療機関から保健所へ発生届が提出され、本人への聞き取りのうえ報道発表しています。

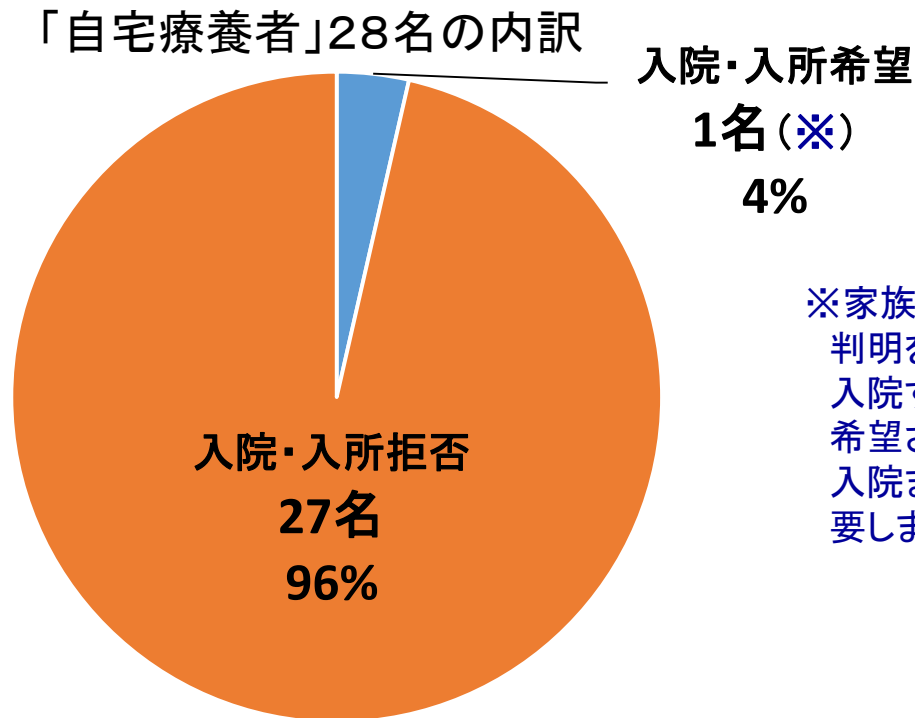
また、治癒判定から治癒の報道発表までに時差が生じることがあります。このため、日々の報道発表の情報と差異が生じます。

※自宅療養とは、自宅での待機期間が3日以上の方です。

## (6) 入院・入所待機中、自宅療養中の感染者の状況

自宅療養中の感染者28名(※)のうち、入院・入所希望は1名、入院・入所拒否は27名です。5月24日時点では、**自宅療養者は実質的に「ゼロ」**になりました。  
奈良県ではこれまで、入院・加療の必要な感染者は、**すべて入院治療**を行うことができます。

※R3.4.1～5.24に陽性判明した3,882名中、「自宅療養中」の者(R3.5.24時点)

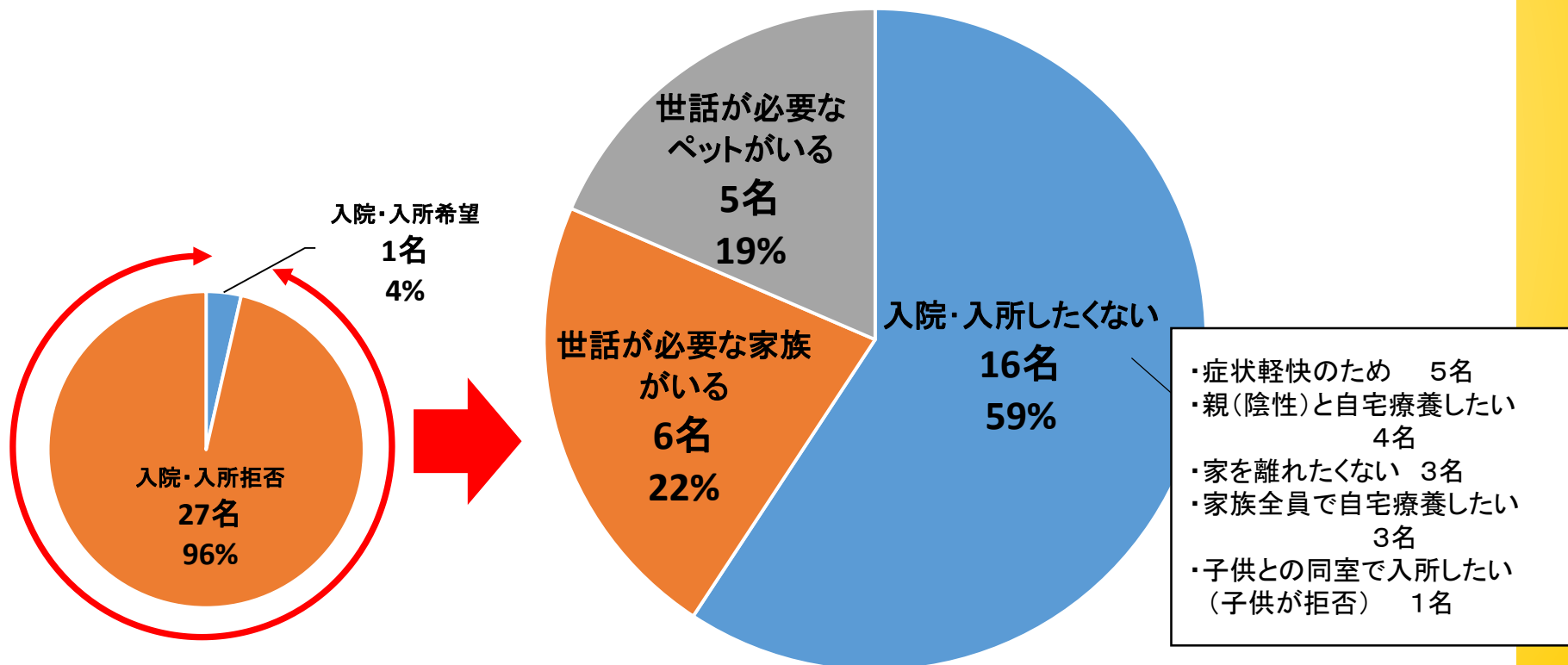


※家族の検査結果の判明を待ってから入院することを希望されたため、入院までに4日を要しました。

## (6) 入院・入所待機中、自宅療養中の感染者の状況

入院・入所拒否の内訳は、「入院・入所したくない」や、「世話が必要な家族・ペットがいる」となっています。

「入院・入所拒否」27名の内訳

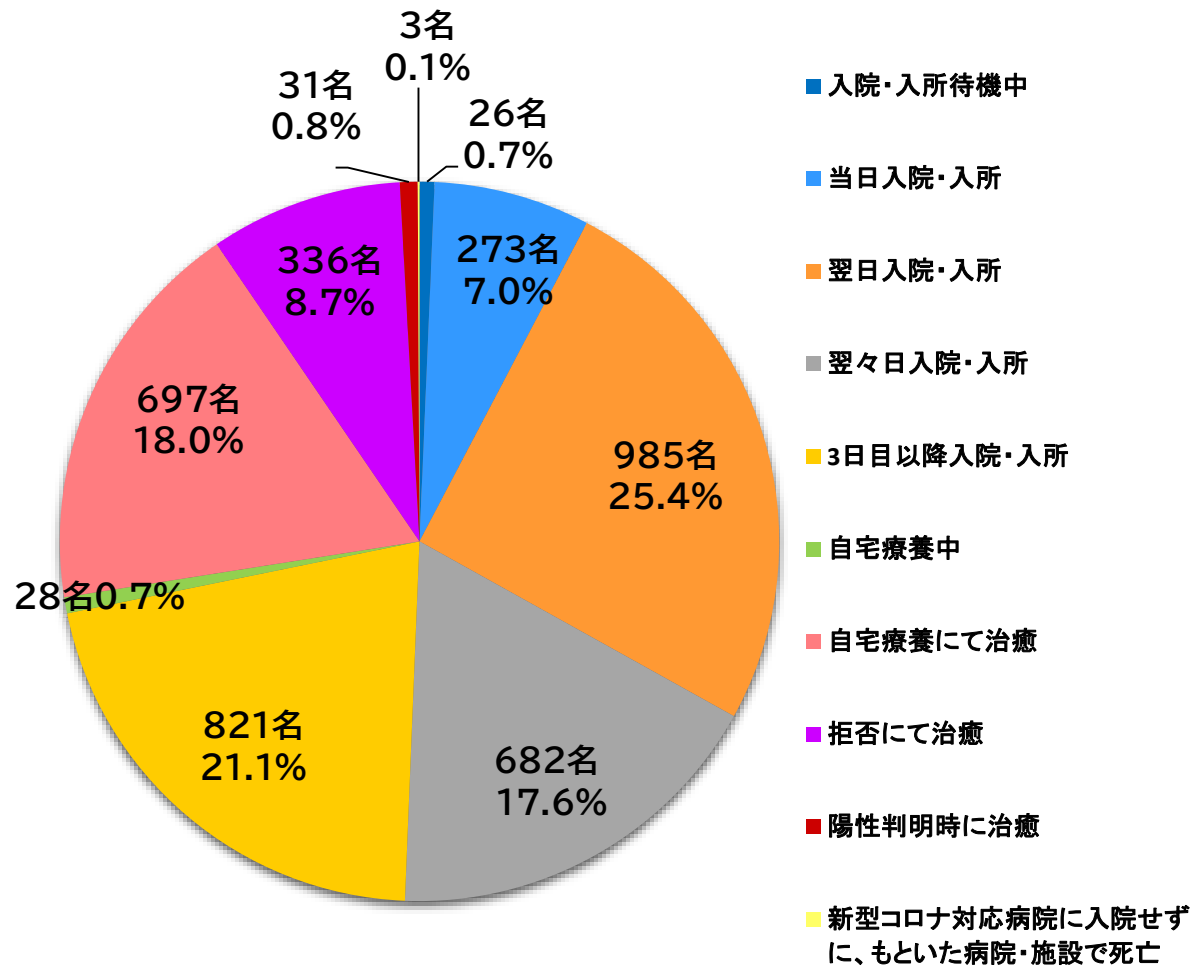
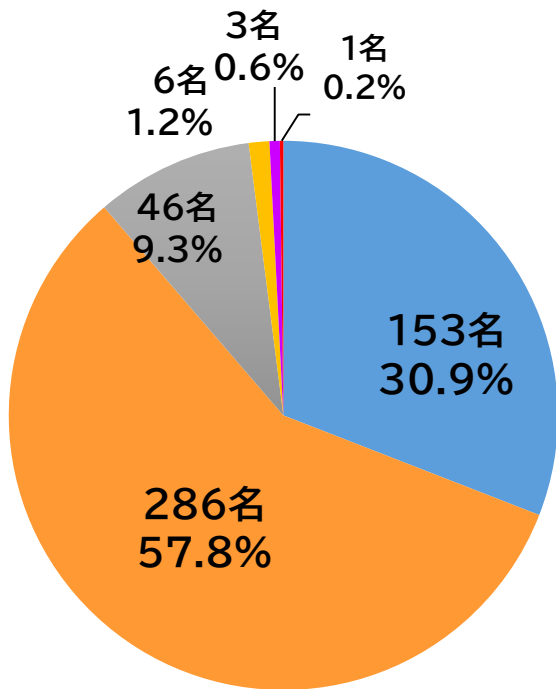




# (6) 入院・入所待機中、自宅療養中の感染者の状況

## R3.4.1～5.24に陽性判明した者 (R3.5.24時点)

### R3.3.1～R3.3.31



※陽性判明時に死亡の方を集計から除外しています。

※陽性が判明した場合、医療機関から保健所へ発生届が提出され、本人への聞き取りのうえ報道発表しています。

また、治癒判定から治癒の報道発表までに時差が生じることがあります。このため、日々の報道発表の情報と差異が生じます。

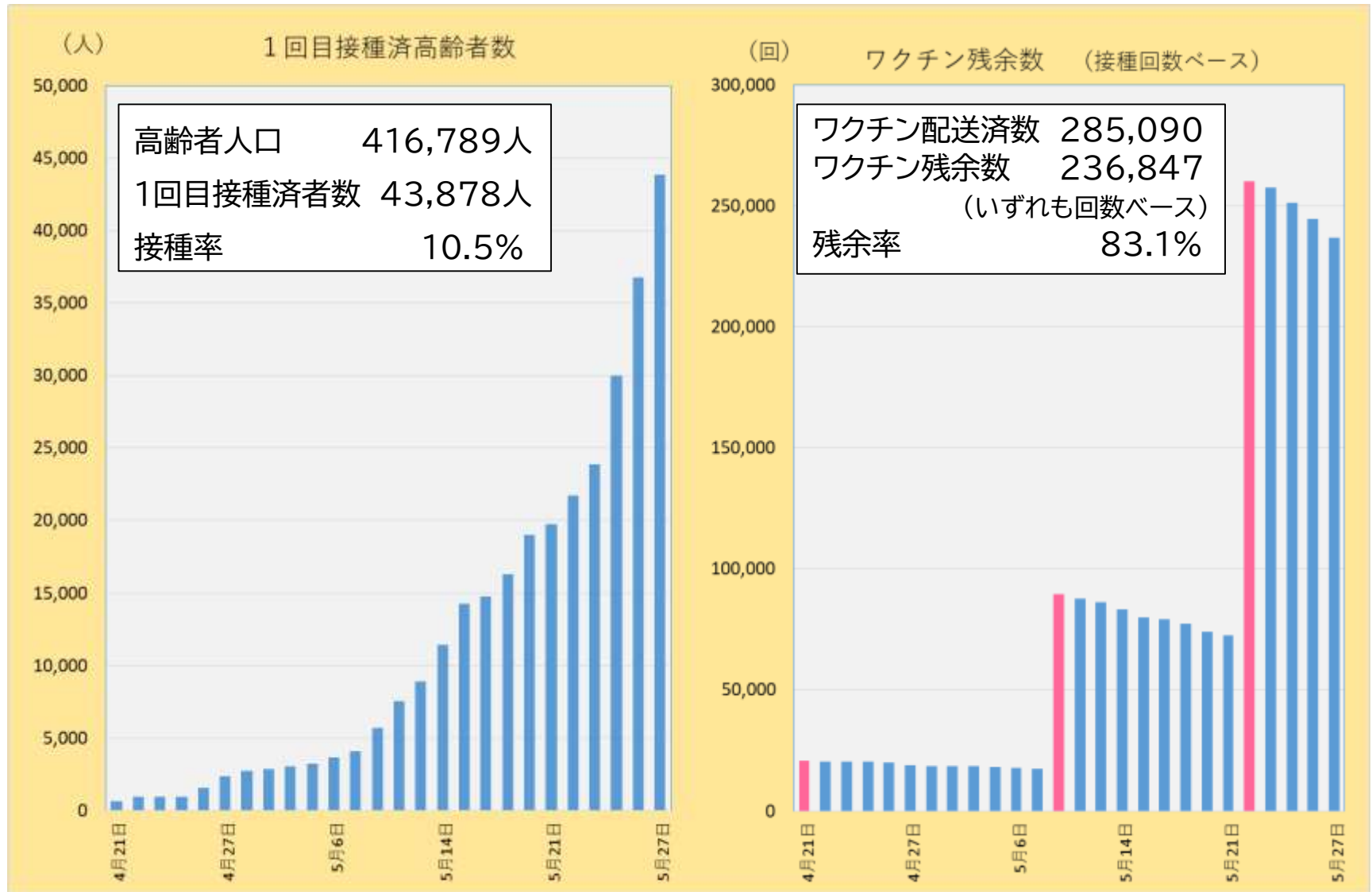
※自宅療養とは、自宅での待機期間が3日以上の方です。

## 5. ワクチン接種の早期展開

## ワクチン接種の早期展開を図るために

- ① 各市町村の**高齢者の接種状況とワクチンの配分状況**について、定期的に公表していきます。
- ② 市町村において、早期接種に困難が存在する場合は、個別の市町村と相談し、県が貢献できる対策を探り、共同で実行していきます。
- ③ 県は、**6月1日から5人1組を基本とする233組の研修医チーム**を集団接種会場に派遣します。
- ④ 高齢者のワクチンの早期接種の次に、一般の人々のワクチン早期接種のため、体制づくりを進めます。

# 高齢者のワクチン接種状況（5月27日現在）【県全体】



# 高齢者のワクチン接種状況（5月27日現在）

## 【高齢者人口に占めるワクチン1回目接種済者数】

	高齢者人口	1回目 接種済者数	接種率 B/A
	A	B	C
奈良市	109,774	5,855	5.3%
大和高田市	19,913	643	3.2%
大和郡山市	27,610	1,925	7.0%
天理市	17,051	3,022	17.7%
橿原市	34,479	3,126	9.1%
桜井市	17,654	2,650	15.0%
五條市	10,985	1,710	15.6%
御所市	10,177	488	4.8%
生駒市	33,451	1,536	4.6%
香芝市	18,233	824	4.5%
葛城市	10,335	2,187	21.2%
宇陀市	12,043	658	5.5%
山添村	1,622	705	43.5%
平群町	7,072	842	11.9%
三郷町	7,033	358	5.1%
斑鳩町	8,607	426	4.9%
安堵町	2,476	290	11.7%
川西町	2,924	643	22.0%
三宅町	2,449	1,153	47.1%
田原本町	9,930	2,711	27.3%

	高齢者人口	1回目 接種済者数	接種率 B/A
	A	B	C
曽爾村	704	623	88.5%
御杖村	903	630	69.8%
高取町	2,594	867	33.4%
明日香村	2,131	1,743	81.8%
上牧町	7,483	1,322	17.7%
王寺町	6,835	1,265	18.5%
広陵町	8,930	155	1.7%
河合町	6,647	1,788	26.9%
吉野町	3,447	19	0.6%
大淀町	5,786	356	6.2%
下市町	2,420	81	3.3%
黒滝村	367	260	70.8%
天川村	669	565	84.5%
野迫川村	185	147	79.5%
十津川村	1,468	760	51.8%
下北山村	421	339	80.5%
上北山村	248	200	80.6%
川上村	775	634	81.8%
東吉野村	958	372	38.8%
計	416,789	43,878	10.5%

高齢者人口：令和2年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口

# 高齢者のワクチン接種状況（5月27日現在）

## 【ワクチンの配分状況（接種回数ベース）】

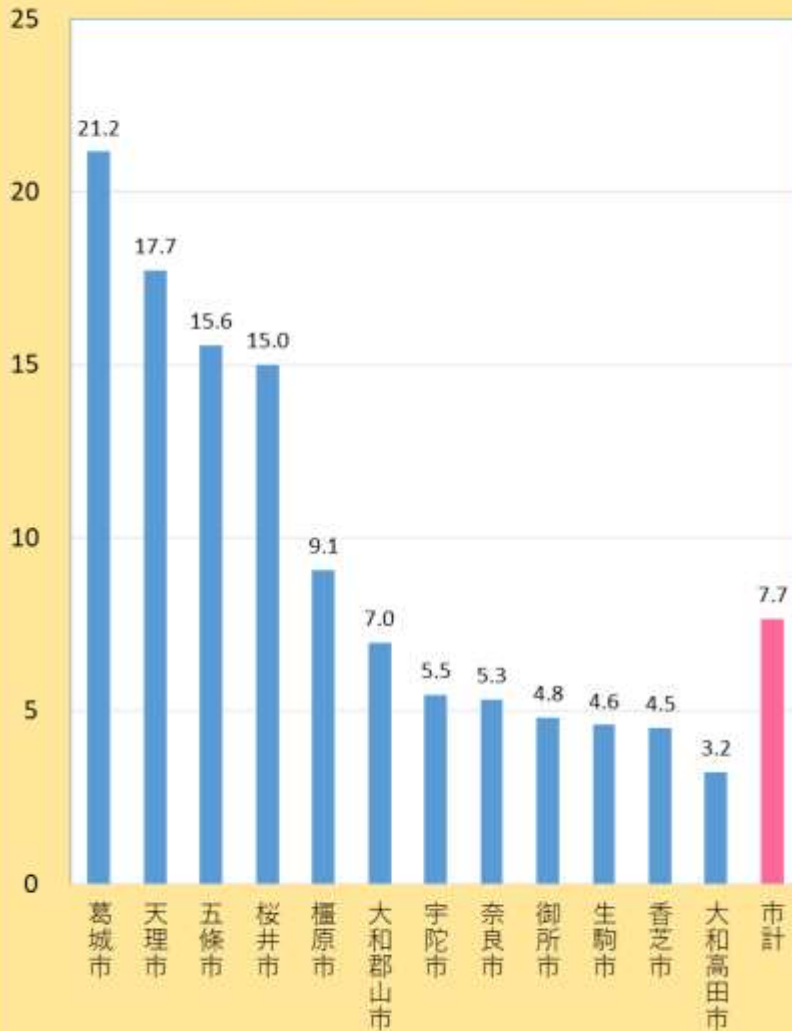
	ワクチン 配送済数 (回数ベース)	ワクチン 残余数 (回数ベース)	残余率
	A	B	B/A C
奈良市	43,095	36,995	85.8%
大和高田市	8,970	8,268	92.2%
大和郡山市	24,500	22,473	91.7%
天理市	15,465	11,594	75.0%
橿原市	15,000	11,864	79.1%
桜井市	17,940	15,270	85.1%
五條市	17,515	15,647	89.3%
御所市	4,690	4,121	87.9%
生駒市	17,160	15,236	88.8%
香芝市	10,245	9,255	90.3%
葛城市	11,470	8,824	76.9%
宇陀市	7,035	6,377	90.6%
山添村	2,395	1,569	65.5%
平群町	5,910	5,068	85.8%
三郷町	6,105	5,747	94.1%
斑鳩町	8,300	7,874	94.9%
安堵町	2,445	2,155	88.1%
川西町	2,445	1,656	67.7%
三宅町	2,445	1,190	48.7%
田原本町	6,355	3,539	55.7%

	ワクチン 配送済数 (回数ベース)	ワクチン 残余数 (回数ベース)	残余率
	A	B	B/A C
曽爾村	1,005	354	35.2%
御杖村	1,225	562	45.9%
高取町	3,420	2,484	72.6%
明日香村	2,550	805	31.6%
上牧町	4,935	3,480	70.5%
王寺町	11,565	10,300	89.1%
広陵町	4,790	4,635	96.8%
河合町	4,690	2,712	57.8%
吉野町	2,145	2,126	99.1%
大淀町	5,460	5,041	92.3%
下市町	2,145	1,968	91.7%
黒滝村	1,175	820	69.8%
天川村	1,175	610	51.9%
野迫川村	1,130	837	74.1%
十津川村	2,395	1,575	65.8%
下北山村	1,075	641	59.6%
上北山村	1,105	805	72.9%
川上村	1,225	472	38.5%
東吉野村	2,395	1,898	79.2%
計	285,090	236,847	83.1%

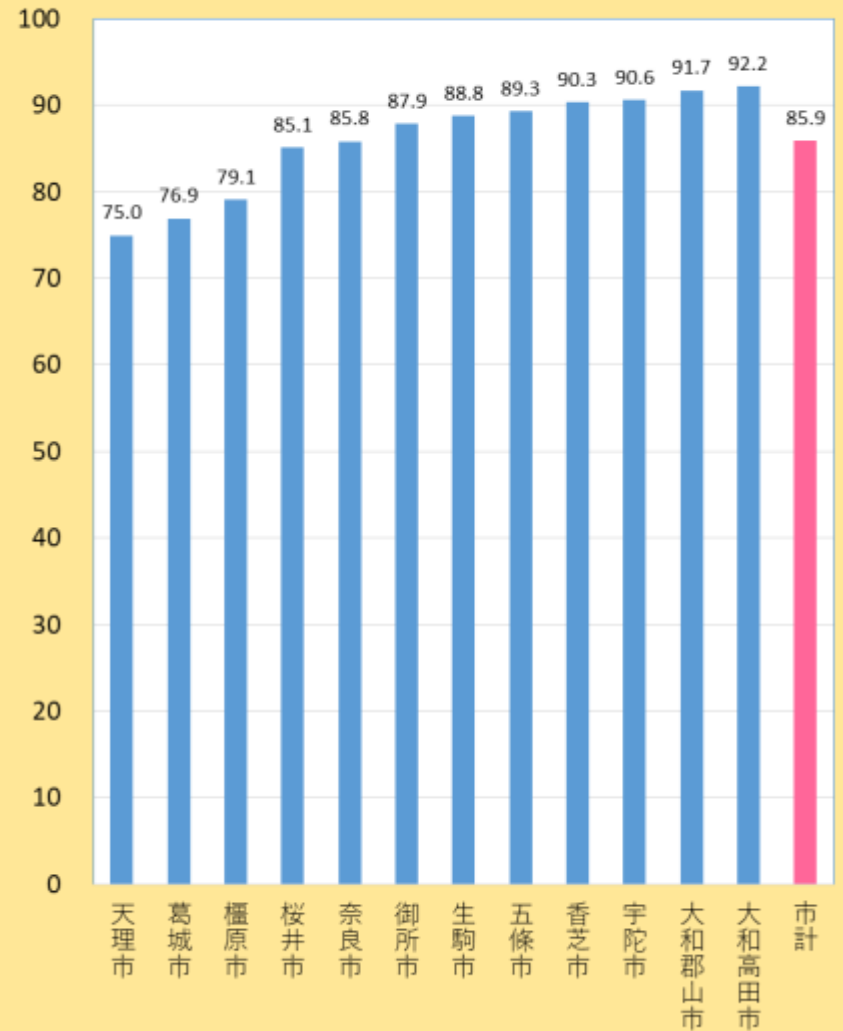
※ ワクチン配分量は、5月22日までの配送分

# 高齢者のワクチン接種状況（5月27日現在）【市】

## 高齢者の1回目ワクチン接種率の状況

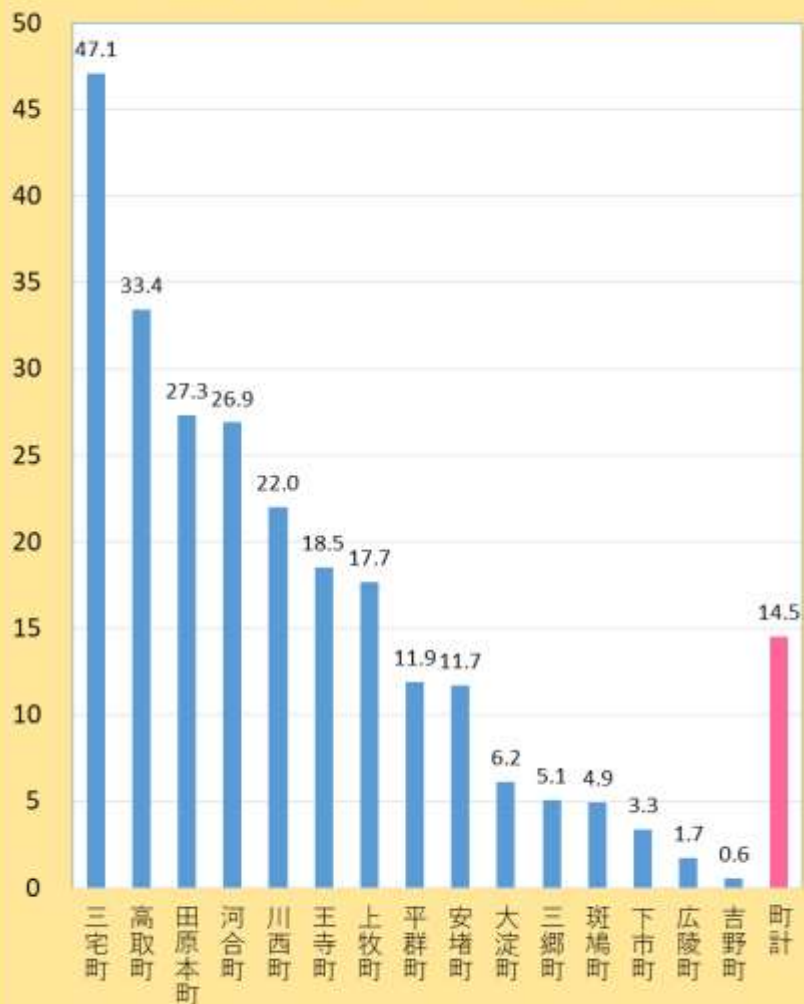


## 配送済みワクチンの残余率

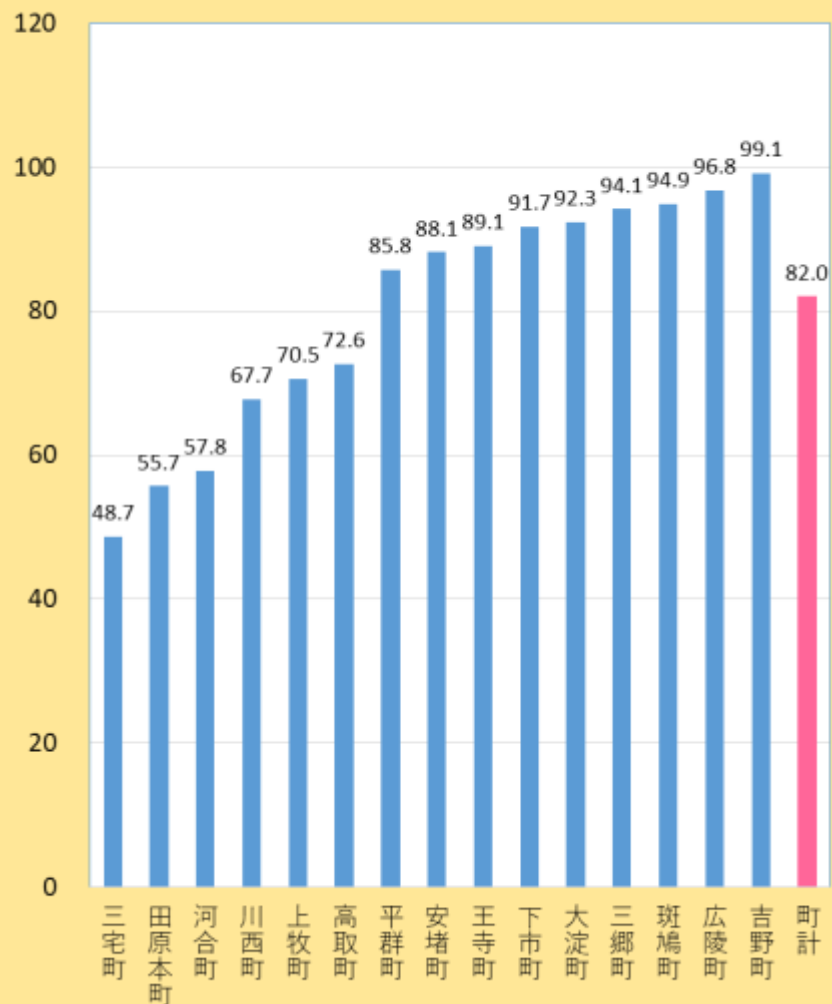


# 高齢者のワクチン接種状況（5月27日現在）【町】

(%) 高齢者の1回目ワクチン接種率の状況

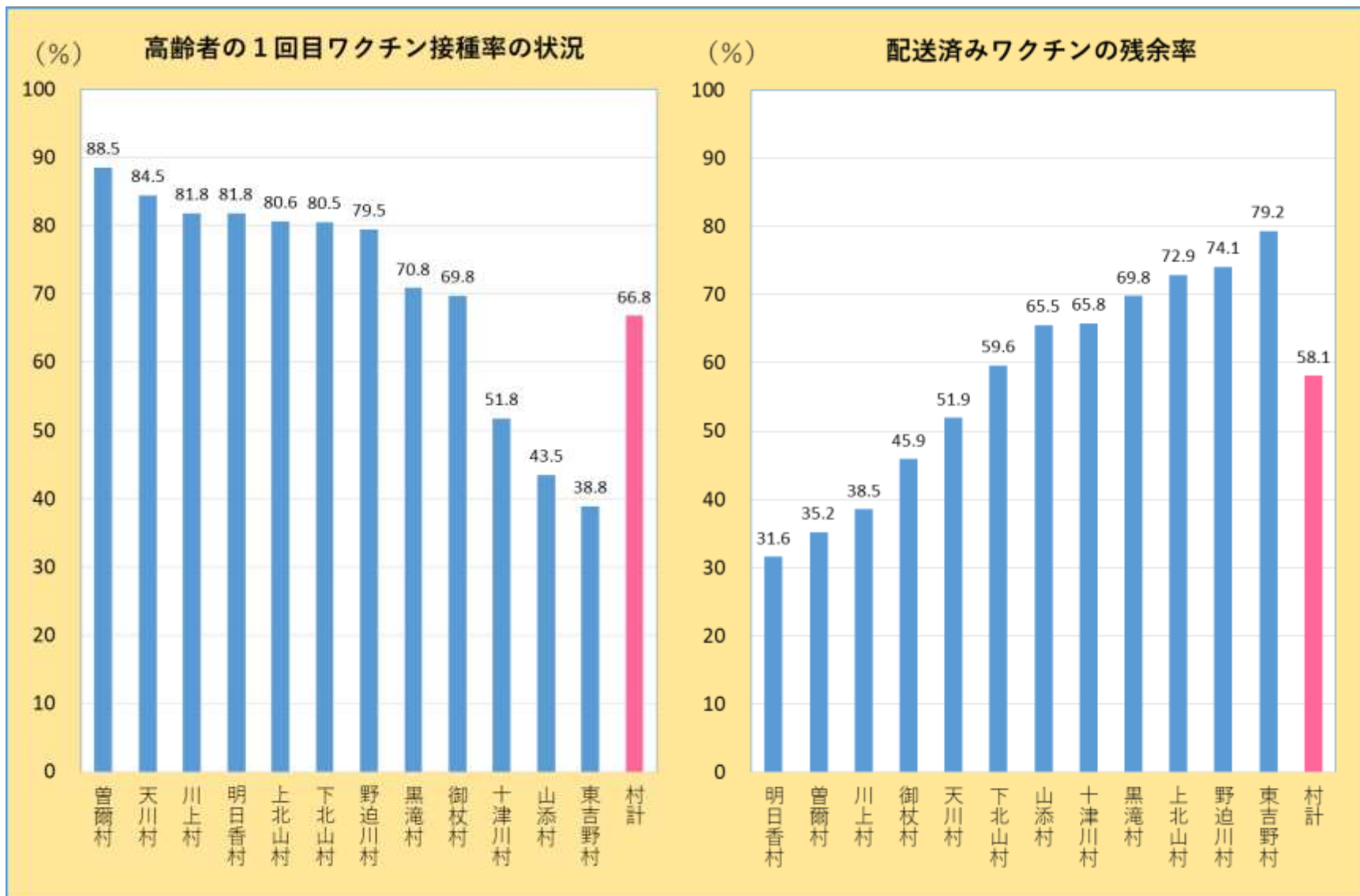


(%) 配送済みワクチンの残余率





# 高齢者のワクチン接種状況（5月27日現在）【村】



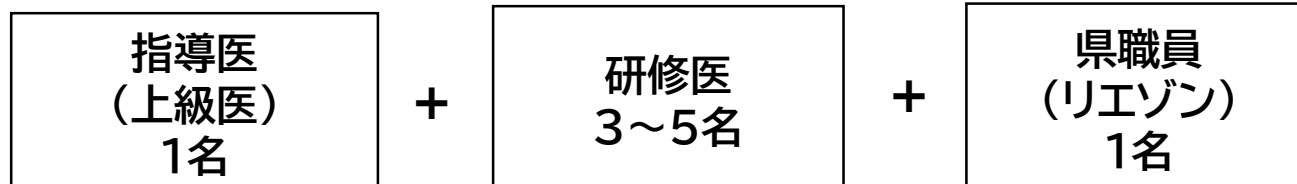


# ワクチン接種の早期展開を図るために

## 研修医チームの概要

各市町村の集団接種会場での稼働率の向上するため、臨床研修を実施する病院(県内10病院)の協力を得て、6月1日から研修医が参加する支援チームを市町村の集団接種会場に派遣します。

支援チームの  
基本編成



※研修医1人あたり 180人/1日(6時間)の接種を予定

※チームの研修医数(3名~5名)に応じて、

3人の場合:180人×3名=540人

4人の場合:180人×4名=720人

5人の場合:180人×5名=900人 の接種が可能

○派遣先:16市町

○派遣チーム数:計233チーム

○参加メンバー:延べ 983名の研修医

延べ 233名の指導医(もしくは上級医)

延べ 233名の県職員(リエゾン対応)

計1,449名

(5月28日現在)

# ワクチン接種の早期展開を図るために

## 支援チーム派遣元

市町村名	予定派遣元	延べチーム数
奈良市	市立奈良病院 奈良県総合医療センター	42チーム
大和高田市	大和高田市立病院 土庫病院	16チーム
橿原市	奈良県立医科大学附属病院	38チーム
桜井市	済生会中和病院 奈良県立医科大学附属病院	8チーム
五條市	南奈良総合医療センター	6チーム
御所市	奈良県立医科大学附属病院	28チーム
生駒市	近畿大学奈良病院	12チーム
香芝市	天理よろづ相談所病院	3チーム
葛城市	奈良県立医科大学附属病院	6チーム
宇陀市	天理よろづ相談所病院	14チーム
平群町	奈良県総合医療センター	12チーム
斑鳩町	天理よろづ相談所病院	12チーム
安堵町	天理よろづ相談所病院	4チーム
三郷町	奈良県西和医療センター	16チーム
上牧町	奈良県総合医療センター	4チーム
広陵町	奈良県立医科大学附属病院	12チーム

10病院 計233チーム

## 研修医による接種に向けた研修会

研修医による接種支援が安全かつ適切に行われるよう、下記の通り研修会を開催。

開催日時: 5月26日 18時～18時30分

実施主体: 奈良県・奈良臨床研修協議会(共催)

方法: WEB形式

内容: ①研修医、上級医、指導医に求められる

役割と参考資料について

②接種手技指導について

Web研修会の様子をYouTubeで公開しています。

YouTube上で研修会の内容を視聴可能です。

(URL: <https://youtu.be/ULnXAHkLgGI>)



# ワクチン接種の早期展開を図るために

集団接種会場への移動が困難な方のための移動手段確保のため、**タクシー利用による送迎等**を行っている市町村の**好事例**を横展開します。

## ①主な内容

No	主な内容	市町村名
1	タクシーチケットの配布	天理市・田原本町・王寺町（※）・下市町
2	コミュニティバス・タクシー共通利用券（クーポン券）の発行	桜井市（※）・香芝市・上牧町
3	タクシーによる送迎	御所市・三郷町・斑鳩町・安堵町・明日香村・高取町
4	シャトルバスの運行	大和郡山市・三宅町・明日香村・上牧町・河合町・吉野町
5	バスの借り上げ	天理市・吉野町・東吉野村
6	職員による送迎	御所市・曾爾村・黒滝村・天川村・野迫川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村
7	運転手を借り上げて、公用車による送迎	平群町・三郷町
8	車椅子での移動が必要な方に対し社会福祉協議会等が送迎	三郷町・曾爾村
9	過疎地有償運送又は介護タクシーによる送迎	御杖村

## ②活用可能な国の交付金・補助金

※ただし後期高齢者等のみ

活用可能な国の補助金等	補助メニュー
1. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（地方単独事業分）（内閣府）	バスの運行 乗合タクシーの運行 タクシー券の配布
2. 新型コロナウイルス接種体制確保事業補助金（厚労省）	バスの運行 乗合タクシーの運行※

※ただし、（身体障害者）や（交通アクセスが悪く接種会場までの移動が困難な者）を乗合タクシーにより効率的・経済的に運送する場合に限り可能

# 新型コロナウイルス感染症に関連する人権への配慮について

## — 差別や偏見をなくしましょう —

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、感染された方をはじめ、医療従事者やそのご家族、その方々が属する施設・機関などに対する差別的な言動や、SNSでの誹謗中傷など、人権を侵害する事象が見受けられます。

いかなる場合でも、差別、偏見、いじめなどは決して許されるものではありません。

県民のみなさまには、新型コロナウイルス感染症に関連する憶測、デマ、不確かな情報に惑わされず、人権侵害につながることをのまないよう、行政機関の提供する正確な情報に基づき、冷静に行動していただきますようお願いいたします。